

消 防 年 報

令 和 4 年 度 版



吾妻広域消防本部

(令和 5 年刊行)

はじめに

昭和48年4月に吾妻広域町村圏振興整備組合消防本部として誕生し、50年を迎えました。

この間、関係各位並びに地域住民の方々の深いご理解と温かいご支援を頂き、施設の整備・消防力の強化充実につとめてまいりました。

しかしながら、最近における近代的な生活様式の著しい進展に伴い、発生する災害の様相は極めて複雑多様化し、その規模は大型化の傾向にあります。

また、救急の面においても、高度な技術を要求され、消防に寄せる期待はいよいよ大きなものがあります。

このような中、消防の任務であります地域住民の「生命・身体及び財産」を災害から守り明るく平和な地域を築くため、なお一層の努力をしてまいる所存であります。

この消防年報は、こうした消防本部の歩み、及び現況(予算統計関係は、会計年度とし、その他のものは表中の年月日とした)を収録し、消防事情を一般に紹介するために編集したものであり、皆様方にいささかでもお役にたてば幸いです。

令和5年8月

吾妻広域消防本部

目 次

一 般 概 況

吾妻広域町村圏の位置	4
吾妻郡の地勢及び自然条件	5
吾妻広域町村圏振興整備組合組織図	6
吾妻広域町村圏振興整備組合特別職の状況	7
吾妻広域町村圏振興整備組合歴代役職	7
沿 革	1 2

総 務

令和4年度組合決算概要	2 5
消防機関の所在地	2 8
消防用車両配備調	3 0
消防職員教養研修調	3 1
構成図及び事務分掌	3 2
消防本部・署の職員数及び在職年数調	3 3
年齢別及び階級別職員調	3 4
職員住所地別配置人員	3 6
消防職員1人に対する人口・世帯数の推移	3 6

予 防

町村別防火対象物の状況(令別表第1による区分)	3 7
消防用設備等の設置届検査件数(月別)	3 8
火災予防条例関係届出件数(月別)	3 8
月別建築同意件数	3 9
町村別建築同意件数	3 9
危険物施設の許認可等事務処理状況	4 0
数量別危険物施設数及び町村別危険物施設数	4 1

火 災

令和4年の火災概況(前年比較)	4 2
原因別火災発生状況	4 3
町村別火災発生状況	4 4
過去5年間の火災発生状況	4 6
月別火災発生状況	4 7
時間別火災発生状況	4 8
曜日別火災発生状況	4 9
町村消防水利調	5 0
火災予防運動標語一覧	5 1

救 助

令和4年救助概要	53
過去5年間の救助活動状況	54
令和4年消防防災ヘリコプター応援要請内容	55

救 急

令和4年救急業務実施概要(1月～12月)	56
町村別出場件数及び搬送人員	57
過去5年間の救急件数の推移	58
月別出場件数	59
曜日別出場件数	59
時間別出場件数	60
事故種別・年齢区分・傷病程度別搬送人員	61
傷病者の事故種別居住地別調	62
普通救命講習管轄別受講者数・救急医療情報サービス問い合わせ件数	63

通 信

指令管制施設(たかさき消防共同指令センター)	64
たかさき消防共同指令センター システム構成図	66
デジタル消防無線配置一覧表	67

消 防 団 ・ 消 防 関 係 団 体

消防団調(令和5年度)	68
幼年消防クラブ等結成状況	69

一般概況

吾妻広域町村圏の位置



吾妻郡の地勢及び自然条件

位置

吾妻郡は東京から125km、群馬県の西北部に位置し、東は沼田市・みなかみ町及び渋川市、南は高崎市に接し、北と西は新潟県及び長野県と県境をなしています。特に沼田市及び長野県とは産業経済や文化等、幅広い住民交流があります。しかし、新潟県境は登山道以外の道路は無く、日常的な交流はあまり多くありません。

面積

圏域総面積は、1,278.55km²で、これは群馬県の総面積の20.1%に当たる広大な面積を有していますが、その約80%の1,033.31km²が林野で、このうち57.6%は国有林です。

地勢

周囲を山々に囲まれ、圏域内も山岳、丘陵が連なり、高原、盆地、河川がその間に点在し複雑な地勢ですが、温泉を始め自然条件に恵まれた上信越高原国立公園を擁する群馬県を代表する観光圏域です。しかし複雑な地勢が災いし交通網の状況が悪く、特に高速交通網から外れており、経済発展等圏域振興のあらゆる進展を妨げていることから、道路網の整備は大きな課題です。

また、三国山系の支系と大洞山系が接続して中央山系を形成しているため、東部ブロック(中之条町、東吾妻町、高山村の2町1村)と西部ブロック(長野原町、草津町、嬭恋村の2町1村)に分断され、歴史・文化・政治経済等に差異が見られます。

気候

圏域内の標高差が800m(役場所在地比較)と大きく、従って気象条件も地域的にかなり異なっています。

年平均では、中之条町が12.6℃、草津町8.2℃であり、最高・最低気温は中之条町が35.1℃(7月)、氷点下9.3℃(1月)、草津町では29.5℃(7月)、氷点下11.8℃(1月)であり、西吾妻は特に冷涼な気候です。年間降水量は、中之条町で1,422.0mm、草津町で1,866.0mmです。また、特に西吾妻は積雪が多く、5ヶ所のスキー場があります。(2021年1月～12月気象庁統計情報より)

面積・人口・世帯数

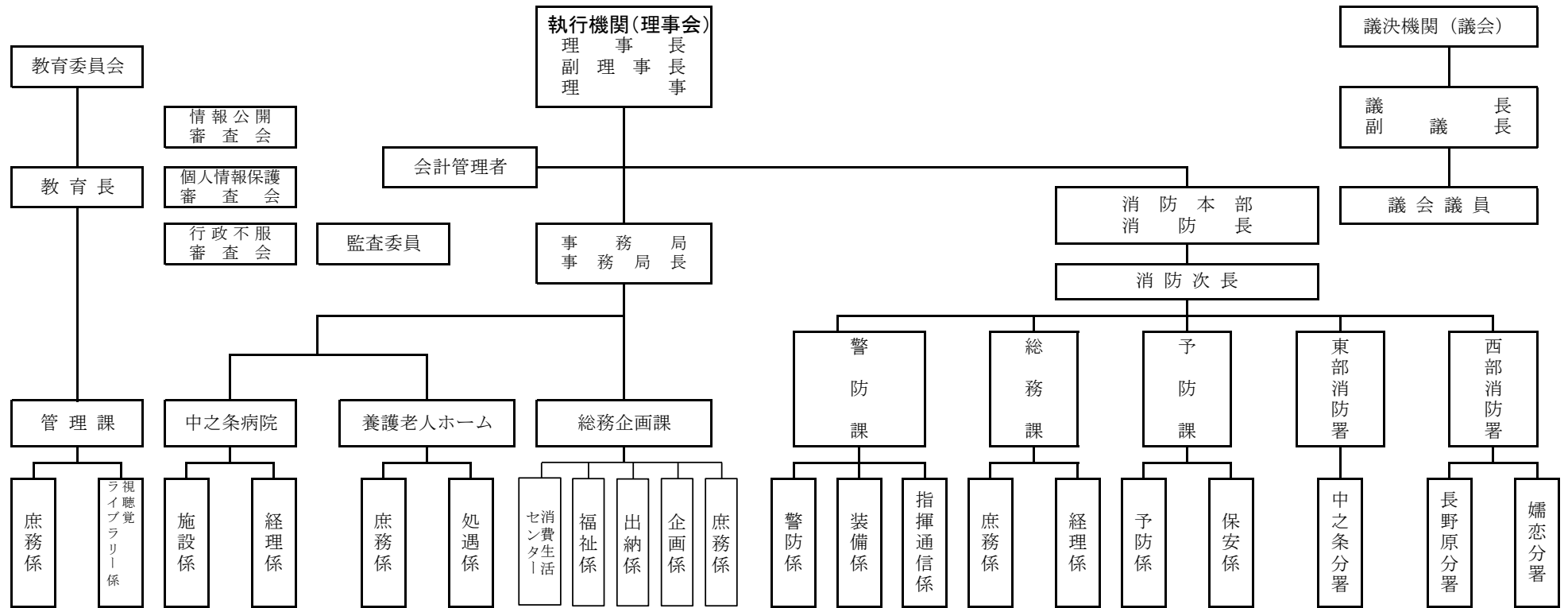
令和5年4月1日

区分	種別	面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数 (世帯)
圏域構成町村	中之条町	439.28	14,757	6,633
	長野原町	133.85	5,271	2,538
	嬭恋村	337.58	9,125	3,945
	草津町	49.75	6,046	3,426
	高山村	64.18	3,289	1,349
	東吾妻町	253.91	12,523	5,449
圏域合計		1,278.55	51,011	23,340

平成18年3月27日 吾妻町と東村が合併し、東吾妻町となる。

平成22年3月28日 中之条町と六合村が合併し、中之条町となる。

吾妻広域町村圏振興整備組合組織図



- (1) 消防に関する事務（消防団及び水利施設に関する事務を除く）
- (2) 視聴覚ライブラリーの設置及び管理に関する事務
- (3) 中之条病院の設置及び管理に関する事務
- (4) 火葬場の設置及び管理に関する事務
- (5) 救急医療対策事業等の事務
- (6) ふるさと市町村圏基金の活用に関する事務
- (7) 関係町村において共有する山林の維持管理に関する事務
- (8) 老人福祉法（昭和38年法律第133号）の規定に基づく養護老人ホームの設置及び管理に関する事務
- (9) 火薬類取締法（昭和25年法律第149号）及び液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律（昭和42年法律第149号）に規定する知事の権限に属する事務のうち、関係町村が処理することとされた事務
- (10) 介護保険法（平成9年法律第123号）に規定する介護認定審査会に関する事務

- (11) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成17年法律第123号）に規定する町村審査会に関する事務
- (12) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく相談支援事業のうち指定相談事業者への委託に関する事務
- (13) 消費生活センターの設置及び管理に関する事務
- (14) 介護保険法（平成9年法律第123号）の規定に基づく訪問介護及び介護予防訪問介護の事業に関する事務並びに特定施設入居者生活介護及び介護予防特定施設入居者生活介護の事業に関する事務
- (15) 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律（平成23年法律第79号）に規定する市町村障害者虐待防止センターの業務の委託に関する事務
- (16) 行政不服審査法（平成26年法律第68号）第81条第1項の規定に基づき同法の規定によりその権限に属せられた事項を処理するための機関の設置及び運営に関する事務

吾妻広域町村圏振興整備組合特別職の状況

令和5年4月1日

特別職	人員	説明	備考
理事	6名	構成町村長のあて職	理事長 中之条町長 副理事長 草津町長
議会議員	12名	構成町村正副議長のあて職	議長 中之条町議長 副議長 長野原町議長
会計管理者 (一般職)	1名	理事長所在町村の会計管理者	中之条町会計管理者
監査委員	2名	議会議員1名、識見者1名	高山村議長 中之条町監査委員

歴代理事長

歴代	氏名	在職期間	備考
初代	福島真一	自 昭和47年 6月 1日 至 昭和59年 1月23日	中之条町長
二代	宮崎太一郎	自 昭和59年 1月24日 至 平成 8年 1月23日	中之条町長
三代	小淵光平	自 平成 8年 1月24日 至 平成16年 1月23日	中之条町長
四代	割田良次	自 平成16年 2月 1日 至 平成18年 3月30日	高山村長
五代	入内島道隆	自 平成18年 3月31日 至 平成24年 1月23日	中之条町長
六代	折田謙一郎	自 平成24年 1月30日 至 平成26年10月24日	中之条町長
七代	伊能正夫	自 平成26年11月30日 至 令和 4年11月29日	中之条町長
八代	外丸茂樹	自 令和 5年 1月 6日	中之条町長

歴代組合議長

歴代	氏名	在職期間	備考
初代	青木 祐三郎	自 昭和47年 6月24日 至 昭和54年 5月12日	吾妻町議長
二代	田村 次郎	自 昭和54年 6月11日 至 昭和55年 2月26日	草津町議長
三代	大久保 上	自 昭和55年 2月27日 至 昭和56年 9月15日	嬭恋村議長
四代	山崎 猛夫	自 昭和56年12月15日 至 昭和58年 4月29日	長野原町議長
五代	水出 政治郎	自 昭和58年 7月11日 至 昭和62年 5月12日	吾妻町議長
六代	割田 良次	自 昭和62年 6月10日 至 平成 1年12月21日	高山村議長
七代	宮崎 喜吉	自 平成 1年12月25日 至 平成 2年 5月17日	嬭恋村議長
八代	後藤 三郎	自 平成 2年 8月28日 至 平成 3年 4月30日	高山村議長
九代	瀬山 巖	自 平成 3年 6月17日 至 平成 7年 5月21日	中之条町議長
十代	小池 則行	自 平成 7年 6月12日 至 平成11年 5月21日	中之条町議長
十一代	清水 榮	自 平成11年 6月 7日 至 平成15年 5月21日	中之条町議長
十二代	宮崎 英彌	自 平成15年 6月10日 至 平成19年 5月21日	中之条町議長
十三代	生須 秀彦	自 平成19年 5月22日 至 平成23年 5月22日	中之条町議長
十四代	竹内 良太郎	自 平成23年 6月 2日 至 平成26年 3月25日	長野原町議長
十五代	平形 富二夫	自 平成26年 5月17日 至 平成27年 4月30日	高山村議長
十六代	山本 隆雄	自 平成27年 5月22日	中之条町議長

歴代消防長

歴代	氏名	在職期間	備考
初代	加部六郎	自 昭和48年 4月 1日 至 昭和54年 4月30日	逝去
二代	片山武志	自 昭和54年 5月 1日 至 平成 2年 3月31日	逝去
三代	加藤三郎	自 平成 2年 4月 1日 至 平成 6年11月30日	
四代	里見福三	自 平成 6年12月 1日 至 平成10年 3月31日	逝去
五代	湯本茂	自 平成10年 4月 1日 至 平成14年 3月31日	
六代	森田友之	自 平成14年 4月 1日 至 平成16年 3月31日	逝去
七代	浅見昭二	自 平成16年 4月 1日 至 平成21年 3月31日	
八代	田村二男	自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日	
九代	横尾康高	自 平成22年 4月 1日 至 平成26年 3月31日	
十代	湯本茂	自 平成26年 4月 1日 至 平成29年 3月31日	
十一代	上原裕之	自 平成29年 4月 1日 至 平成30年 3月31日	
十二代	小池信行	自 平成30年 4月 1日 至 平成31年 3月31日	
十三代	山田圭一	自 平成31年 4月 1日 至 令和 4年 3月31日	
十四代	関亨	自 令和 4年 4月 1日	

歴代東部消防署長

歴代	氏名	在職期間	備考
初代	加藤三郎	自 昭和48年 4月 1日 至 平成 2年 3月31日	
二代	水出進	自 平成 2年 4月 1日 至 平成 6年11月30日	逝去
三代	森田友之	自 平成 6年12月 1日 至 平成10年 3月31日	逝去
四代	塚田洋征	自 平成10年 4月 1日 至 平成14年 3月31日	逝去
五代	戸塚勇	自 平成14年 4月 1日 至 平成15年 3月31日	
六代	浅見昭二	自 平成15年 4月 1日 至 平成16年 3月31日	
七代	小林秀一	自 平成16年 4月 1日 至 平成21年 3月31日	
八代	横尾康高	自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日	
九代	蜂須賀義夫	自 平成22年 4月 1日 至 平成24年 3月31日	
十代	高橋武男	自 平成24年 4月 1日 至 平成26年 3月31日	
十一代	梅澤孝夫	自 平成26年 4月 1日 至 平成28年 3月31日	
十二代	霜田春二	自 平成28年 4月 1日 至 平成29年 3月31日	
十三代	本多勉	自 平成29年 4月 1日 至 平成31年 3月31日	
十四代	小池賢一郎	自 平成31年 4月 1日 至 令和 4年 3月31日	
十五代	齋藤和彦	自 令和 4年 4月 1日	

歴代西部消防署長

歴代	氏名	在職期間	備考
初代	石田 忠	自 昭和48年 4月 1日 至 昭和59年 3月31日	逝去
二代	金井 嶸	自 昭和59年 4月 1日 至 平成 1年 3月31日	
三代	中沢 三郎	自 平成 1年 4月 1日 至 平成 6年11月30日	逝去
四代	森田 栄一	自 平成 6年12月 1日 至 平成 9年 3月31日	
五代	中澤 幸丸	自 平成 9年 4月 1日 至 平成13年 3月31日	
六代	黒岩 三男	自 平成13年 4月 1日 至 平成19年 3月31日	
七代	米 敬	自 平成19年 4月 1日 至 平成24年 3月31日	
八代	金子 守	自 平成24年 4月 1日 至 平成26年 3月31日	
九代	霜田 春二	自 平成26年 4月 1日 至 平成28年 3月31日	
十代	中曾根 安雄	自 平成28年 4月 1日 至 平成29年 3月31日	
十一代	湯本 完司	自 平成29年 4月 1日 至 平成31年 3月31日	
十二代	齋藤 和彦	自 平成31年 4月 1日 至 令和 4年 3月31日	
十三代	富澤 英成	自 令和 4年 4月 1日	

沿革

- 昭和48. 4. 1 吾妻広域町村圏振興整備組合1消防本部・2消防署を設置、普通消防ポンプ自動車2台、救急車3台、指令車1台、総員37名をもって発足。
48. 4. 20 消防職員1名採用、総員38名となる。
48. 6. 1 消防職員11名採用、総員49名となる。
48. 7. 23 指令車1台購入消防本部に設置。
48. 7. 26 群馬県共済農業協同組合連合会により救急車(ニッサンキャラバン)1台を寄贈される。
48. 12. 4 水槽付消防ポンプ自動車(いすゞ)2台を購入。東部消防署、西部消防署に各1台配置。
-

- 昭和49. 4. 1 消防本部と東部消防署の庁舎を新設、新庁舎に業務移転。消防職員2名採用、総員51名となる。
49. 5. 1 消防職員5名採用、総員56名となる。
49. 7. 1 消防職員1名採用、総員57名となる。
長野原分署発足、救急車1台を配置、分署長以下9名で救急業務の充実をはかる。
49. 9. 28 普通消防ポンプ自動車(ニッサン)3台を購入。
49. 10. 1 消防職員4名採用、総員61名となる。
50. 2. 5 長野原分署庁舎を新築、新庁舎に業務移転、普通消防ポンプ自動車1台救急車1台配置。
-

- 昭和50. 9. 20 消防職員9名採用。総員70名となる。
50. 10. 7 屈折はしご付消防ポンプ自動車(三菱ふそう)1台、普通消防ポンプ自動車(ニッサン)1台購入。
50. 12. 11 群馬県共済農業協同組合連合会より救急車(ニッサン)1台を寄贈される。
51. 1. 1 消防職員5名採用、総員75名となる。
51. 2. 1 消防職員1名採用、総員76名となる。
51. 2. 10 嬭恋分署開署、普通消防ポンプ自動車(ニッサン)1台、救急車(ニッサン)1台を配置、分署長以下12名で発足。(救急車は仮配置)
51. 3. 11 連絡車(スズキ)1台を購入、嬭恋分署に配置。日本損害保険協会より救急車(ニッサンキャラバン)1台を寄贈され、嬭恋分署に配置。
51. 3. 26 救急車(ニッサンキャラバン)1台を購入、東部消防署に配置。
-

- 昭和51. 4. 1 消防職員4名採用、総員80名となる。
51. 4. 10 中之条分署開署、普通消防ポンプ自動車(ニッサン)1台、救急車(ニッサン)1台を配置、分署長以下13名で発足。
51. 8. 31 消防職員1名退職、総員79名となる。
52. 1. 25 連絡車(スズキ)3台を購入、消防本部、中之条分署、長野原分署に配置。
52. 3. 30 救助工作車(三菱キャンター)1台を購入、東部消防署に配置。
-

- 昭和52. 4. 1 消防職員2名採用、総員81名となる。
53. 3.15 救助工作車(トヨタランドクルーザー)1台を購入、西部消防署に配置。
-
- 昭和53. 9.20 救急車(トヨタハイエース2B)1台渋川交通災害共済組合より寄贈され東部消防署に配置。
53.11.21 普通消防ポンプ自動車(ニッサン)1台を購入、西部消防署に配置(既配置の普通消防ポンプ自動車1台予備車に編入)
54. 3.30 指令車(トヨタクラウンバン)1台購入、西部消防署に配置(既配置の指令車廃車)
54. 3.31 消防職員1名退職、総員80名となる。
-
- 昭和54. 4. 1 消防職員1名採用、総員81名となる。
54. 4.30 消防職員1名退職、総員80名となる。
54. 5.11 指令車(トヨタクラウン)1台購入、消防本部に配置(既配置の指令車廃車)
-
- 昭和55. 4. 1 消防職員1名採用、総員81名となる。
55. 5. 6 救急車(ニッサンキャラバン)1台、群馬県共済農業協同組合連合会より寄贈、長野原分署に配置。
55. 8.31 消防職員1名退職、総員80名となる。
55.12.22 連絡車(トヨタコロナバン)2台購入、消防本部、嬭恋分署に各1台配置。(嬭恋分署に既配置の連絡車廃車)
-
- 昭和56. 4. 1 消防職員1名採用、総員81名となる。
56.12. 9 連絡車(トヨタコロナバン)2台購入、中之条分署、長野原分署に各1台配置。
消防本部に既配置の連絡車(スズキ)廃車。
中之条分署に既配置の連絡車(スズキ)東部消防署に配置換。
長野原分署に既配置の連絡車(スズキ)西部消防署に配置換。
57. 3.19 東部消防署に既配置の救急車(ニッサンキャラバン)西部消防署に配置換。
57. 3.31 消防職員1名退職、総員80名となる。
-
- 昭和57. 4. 1 消防職員2名採用、総員82名となる。
57.11.26 救急車(ニッサンキャラバン)1台日本自動車工業会より寄贈され嬭恋分署に配置。
57.12. 1 嬭恋分署に既配置の救急車(ニッサンキャラバン)東部消防署に配置換。
-
- 昭和58. 4. 1 消防職員1名採用、総員83名となる。
58. 9.14 東部消防署に既配置の救急車(フォルクスワーゲン)廃車。
58.10.26 救急車(ニッサンホームー)1台を東京都江東区亀戸(株)玉原製作所 玉原滋人・富貴子夫婦より寄贈され西部消防署に配置。

- 西部消防署に既配置の救急車(ニッサンキャラバン)東部消防署に配置換。
58.12.23 連絡車(トヨタコロナバン)1台購入、東部消防署に配置。(既配置の連絡車廃車)
59.2.24 東部消防署に既配置の救急車(ニッサンキャラバン)廃車。
59.3.31 消防職員1名退職、総員82名となる。
-

- 昭和59.4.1 消防職員1名採用、総員83名となる。
59.4.24 救急車(トヨタハイエース)1台購入、中之条分署に配置。
中之条分署に既配置の救急車(ニッサンキャラバン)東部消防署に配置換。
東部消防署に既配置の救急車(ニッサンキャラバン)廃車。
59.8.17 消防職員1名退職、総員82名となる。
59.10.1 消防職員2名採用、総員84名となる。
59.11.12 水槽付消防ポンプ自動車(いすゞ)1台購入、東部消防署に配置。
60.2.15 消防職員1名退職、総員83名となる。
-

- 昭和60.4.1 消防職員1名採用、総員84名となる。
60.4.30 資機材運搬車(ホンダアクティ)1台購入、消防本部に配置。
60.8.23 東部消防署に既配置の水槽付消防ポンプ自動車(いすゞ)中之条分署に配置換。
60.11.22 防火広報車(ニッサンキャラバン)1台、日本防火協会より寄贈、消防本部に配置。
60.11.25 普通消防ポンプ自動車(いすゞ)1台購入、長野原分署に配置。
長野原分署に既配置の普通消防ポンプ自動車(ニッサン)消防本部に配置換(予備車に編入)。
消防本部に既配置の普通消防ポンプ自動車(ニッサン)廃車。
60.12.10 東部消防署及び西部消防署に基地局第2装置(県内共通派)を設置。
西部消防署基地局空中線電力(5Wを10Wに)増力。
61.1.31 消防職員2名退職、総員82名となる。
61.3.22 救急車(ニッサンキャラバン)1台、群馬県農協福祉基金より寄贈、東部消防署に配置。
東部消防署に配置の救急車(ニッサンキャラバン)廃車。
-

- 昭和61.4.1 消防職員1名採用、総員83名となる。
61.7.30 救急車(ニッサンキャラバン)1台、日本消防協会より寄贈、長野原分署に配置。
61.8.2 長野原分署に既配置の救急車(ニッサンキャラバン)西部消防署に配置換。
西部消防署に既配置の救急車(ニッサンキャラバン)廃車。
61.11.21 水槽付消防ポンプ自動車(いすゞ)1台購入、西部消防署に配置。
61.12.3 西部消防署に既配置の水槽付消防ポンプ自動車(いすゞ)嬬恋分署へ配置換。
62.2.5 指令車(スバルレオーネ)1台購入、西部消防署に配置、既配置の指令車廃車。

-
- 昭和62. 4. 1 消防職員2名採用、総員85名となる。
- 62.11.28 水槽付消防ポンプ自動車(いすゞ)1台購入、中之条分署に配置、既配置の水槽付消防ポンプ自動車廃車。
63. 2. 1 中之条分署に既配置の普通消防ポンプ自動車(ニッサン)消防本部に配置換(予備車に編入)。消防本部に既配置の普通消防ポンプ自動車(ニッサン)廃車。
63. 3.31 消防職員1名退職、総員84名となる。
-

- 昭和63. 4. 1 消防職員1名採用、総員85名となる。
63. 6.17 連絡車(ホンダアクティバン)1台購入、西部消防署に配置、既配置の連絡車(スズキ)廃車。
- 63.12. 5 嬭恋分署に既配置の普通消防ポンプ自動車(ニッサン)廃車。
- 63.12.12 水槽付消防ポンプ自動車(いすゞ)1台購入、嬭恋分署に配置、既配置の水槽付消防ポンプ自動車(いすゞ)廃車。
- 63.12.27 救急車(トヨタハイエース)1台、日本損害保険協会より寄贈、嬭恋分署に配置、既配置の救急車(ニッサンキャラバン)廃車。
- 平成 元. 3.31 消防職員2名退職、総員83名となる。
-

- 平成 元. 4. 1 消防職員1名採用、総員84名となる。
- 元.11.27 救助工作車(いすゞフォワード)1台購入、東部消防署に配置、既配置の救助工作車(三菱キャンター)廃車。
- 元.12.22 救急車(トヨタハイエース)1台購入、西部消防署に配置、既配置の救急車(ニッサンキャラバン)廃車。
2. 3.31 消防職員1名退職、総員83名となる。
-

- 平成 2. 4. 1 消防職員2名採用、総員85名となる。
2. 6.30 消防職員1名退職、総員84名となる。
- 2.11.26 普通消防ポンプ自動車(いすゞ)1台購入、東部消防署に配置、既配置の普通消防ポンプ自動車(ニッサン)廃車。
3. 3.26 指令車(トヨタクラウン)1台購入、消防本部に配置、既配置の指令車(トヨタクラウン)廃車。
-

- 平成 3. 4. 1 消防職員1名採用、総員85名となる。
- 3.11. 5 連絡車(トヨタカリブ)2台購入、消防本部、嬭恋分署に各1台配置、既配置連絡車(トヨタコロナバン)2台廃車。
4. 1.21 救急車(ニッサンキャラバン)1台、日本自動車工業会より寄贈、東部消防署に配置、既配置救急車(トヨタハイエース)廃車。
4. 2.28 救助工作車(いすゞ)1台購入、西部消防署に配置、既配置の救助工作車(トヨタランドクルーザー)嬭恋分署に配置換。
-

- 平成 4. 4. 1 消防職員定数 100 名となる。
4. 8. 5 救急車(トヨタハイエース)1 台、日本消防協会より寄贈、嬭恋分署に配置。
5. 1. 1 1 連絡車(トヨタカリブ)1 台購入、中之条分署に配置、既配置の連絡車(トヨタコロナバン)廃車。
5. 3. 2 4 救急車(ニッサンキャラバン)1 台購入。長野原分署に配置、既配置の救急車(ニッサンキャラバン)廃車。
5. 3. 3 1 消防職員 2 名退職、総員 83 名となる。
-

- 平成 5. 4. 1 消防職員 5 名採用、総員 88 名となる。
5. 1 1. 2 9 救急車(ニッサンキャラバン)2 台購入、中之条分署、嬭恋分署に各 1 台配置、中之条分署既配置の救急車(トヨタハイエース)廃車。
嬭恋分署、救急車(トヨタハイエース)を西部消防署に配置換、救急車(ニッサンホーミー)西部消防署、廃車。
5. 1 2. 5 指令車(トヨタカリブ)1 台購入、西部消防署に配置、既配置の指令車(スバルレオーネ)廃車。
6. 2. 2 1 東部消防署に救急車載プロパック購入。
6. 2. 2 8 消防職員 1 名退職、総員 87 名となる。
6. 3. 2 5 中之条分署、無線基地局更新。
-

- 平成 6. 4. 1 消防職員 5 名採用、総員 92 名となる。
6. 1 1. 1 1 救急救命士(登録番号 07367 号)誕生。
6. 1 1. 2 5 西部消防署長野原分署待機室増床工事(14.08 m²増床)。
6. 1 1. 2 8 西部消防署長野原分署に連絡車(トヨタカリブ)1 台購入配置、既配置連絡車(トヨタコロナバン)廃車。
6. 1 1. 3 0 西部消防署に救急車載プロパック購入。
6. 1 2. 2 1 西部消防署長野原分署に水槽付消防ポンプ自動車、1 台購入配置、既配置普通消防ポンプ自動車(いすゞエルフ)、西部消防署に配置換、西部消防署配置の普通消防ポンプ自動車(ニッサンパトロール)廃車。
7. 3. 8 消防本部に蘇生訓練用生体シミュレーター購入。
7. 3. 1 3 西部消防署嬭恋分署既配置の救助工作車(トヨタランドクルーザー)廃車。
-

- 平成 7. 4. 1 消防職員 5 名採用、総員 97 名となる。
7. 5. 1 0 消防職員 1 名退職、総員 96 名となる。
7. 7. 1 消防職員 1 名退職、総員 95 名となる。
7. 1 2. 1 嬭恋分署に救急車載プロパック購入。
7. 1 2. 8 東部消防署に高圧ガス充填室完成運用開始。
8. 1. 2 5 長野原分署無線基地局更新。
8. 3. 1 5 長野原分署に救急車載プロパック購入。
8. 3. 2 2 西部消防署に 20m 級屈折はしご付消防ポンプ自動車(ヒノレンジャー)を購入配置。
8. 3. 3 1 消防職員 2 名退職、総員 93 名となる。

-
- 平成 8. 4. 1 消防職員 5 名採用、総員 98 名となる。
8. 5. 7 救急救命士(登録番号 09864 号)誕生。
8. 7. 4 消防本部に連絡車(ダイハツハイゼット)購入配置。
8.10.30～ 8.11. 1
第 43 回全国消防長会組合消防委員会が開かれる(会場：草津町)。
9. 1.24 東部消防署に指令車(ニッサンADバン)購入配置。
車載無線機(NEC:TR3MID-18AT)
9. 3.12 中之条分署に救急車載プロパック購入。
9. 3.31 消防職員 3 名退職、総員 95 名となる。
-
- 平成 9. 4. 1 消防職員定数 105 名となる。
消防職員 5 名採用、総員 100 名となる。
9. 5. 1 救急救命士(登録番号 11715 号)誕生。
9. 6.30 消防職員 2 名退職、総員 98 名となる。
9. 7. 1 消防職員 1 名採用、総員 99 名となる。
9.11. 1 西部消防署消毒室運用開始。
10. 1.28 西部消防署に高規格救急車(トヨタハイメディック)購入配置。
車載無線機(NEC:TR3MID-18AT)
既配置救急車(トヨタハイエース)東部消防署に配置換、東部消防署に既配置の救急車(ニッサンキャラバン)廃車。
10. 3.31 消防職員 3 名退職、総員 96 名となる。
-
- 平成 10. 4. 1 消防職員 5 名採用、総員 101 名となる。
10. 4.16 群馬県防災航空隊及び山林火災資機材取扱い訓練、東部 4 町村消防団。
吾妻町総合グラウンドで実施。
10. 4.23 群馬県防災航空隊及び山林火災資機材取扱い訓練、西部 4 町村消防団。
嬭恋村総合グラウンドで実施。
10. 4.30 消防職員 1 名退職、総員 100 名となる。
10. 5. 8 救急救命士(登録番号 13625 号)誕生。
10. 7. 7 資機材搬送車(ホンダアクティ)購入。
既配置の資機材搬送車(ホンダアクティ)廃車。
車載無線機(NEC:TR3MID-18AT)
11. 3.18 東部消防署消毒室運用開始。
11. 3.23 救急車(トヨタハイエース)1 台日本消防協会より寄贈、嬭恋分署に配置。
車載無線機(NEC:TR3MID-18AT)
既配置の救急車(ニッサンキャラバン)西部消防署に配置換。
西部消防署既配置の救急車(トヨタハイエース)東部消防署に配置換。
東部消防署既配置の救急車(トヨタハイエース)廃車。
11. 3.29 岳南広域、岳北広域、吾妻消防本部相互応援協定調印。
11. 3.31 消防職員 1 名退職、総員 99 名となる。

-
- 平成 1 1. 4. 1 消防職員 3 名採用、総員 102 名となる。
- 1 1. 5. 1 0 群馬県防災航空隊、東部 4 町村消防団との総合合同訓練を実施。
東村総合運動場。
- 1 1. 5. 1 1 救急救命士(登録番号 15657 号)誕生。
- 1 1. 5. 1 4 群馬県防災航空隊、西部 4 町村消防団との総合合同訓練を実施。
草津町営第 5 駐車場。
- 1 1. 1 0. 2 8 岳南広域、岳北広域、吾妻消防本部相互応援合同訓練(野反湖)。
- 1 2. 2. 1 4 東部消防署に水槽付消防ポンプ自動車(ミツビシファイター)購入配置。
車載無線機(NEC:TR3MID-8AT)
- 1 2. 2. 1 8 (財)日本消防協会海外消防車両援助事業に水槽付消防ポンプ自動車(1 台)
を寄贈登録する。(平成 12.6 コロンビア共和国に寄贈される。)
- 1 2. 3. 9 中之条・長野原・嬭恋分署の消毒室運用開始。
- 1 2. 3. 3 1 消防職員 2 名退職、総員 100 名となる。
-

- 平成 1 2. 4. 1 消防職員 3 名採用、総員 103 名となる。
- 1 2. 5. 1 0 群馬県防災航空隊及び山林火災資機材取扱い訓練、東部 4 町村消防団。
中之条町民運動場で実施。
- 1 2. 5. 1 1 救急救命士(登録番号 17663 号)誕生。
- 1 2. 6. 2 8 人員搬送車(トヨタハイエース)購入。
- 1 2. 8. 8 岳南広域、岳北広域、吾妻消防本部相互応援合同訓練(長野県栄村)。
- 1 2. 1 0. 5 ~ 1 2. 1 0. 6
第 19 回全国消防長組合消防委員会中ブロック委員会が開かれる
(会場:草津町)。
- 1 2. 1 2. 1 5 救急車(トヨタハイエース)長野原分署購入配置。
既配置救急車(ニッサンキャラバン)西部消防署に配置換。
既配置救急車(ニッサンキャラバン)東部消防署に配置換、東部消防署に既
配置の救急車(ニッサンキャラバン)廃車。
- 1 3. 3. 1 6 万座温泉スキー場救急搬送訓練。
- 1 3. 3. 3 1 消防職員 2 名退職、総員 101 名となる。
-

- 平成 1 3. 4. 1 消防職員 4 名採用、総員 105 名となる。
- 1 3. 5. 7 救急救命士(登録番号 19554 号)誕生。
- 1 3. 9. 2 6 救急車(トヨタハイエース)中之条分署購入配置。
既配置救急車(ニッサンキャラバン)東部消防署に配置換、東部消防署に
既配置の救急車(ニッサンキャラバン)廃車。
- 1 3. 1 2. 1 3 高規格救急車(トヨタハイメディック)東部消防署に購入配置。
既配置の救急車(ニッサンキャラバン)廃車。
- 1 4. 3. 1 群馬県防災航空隊、草津町との合同遭難救助訓練(草津町)。
- 1 4. 3. 3 1 消防職員 2 名退職、総員 103 名となる。
-

- 平成14. 4. 1 消防職員2名採用、総員105名となる。
14. 4. 30 救急救命士（登録番号21281号）誕生。
14. 7. 26 既廃車救急車（ニッサンキャラバン）指揮車へ改造登録。
指揮車消防本部へ配置。
15. 3. 11～15. 3. 12
第10回全国消防長会組合消防委員会関東支部委員会が開かれる。
（会場：中之条町）
15. 3. 20 災害対応水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ）西部消防署購入配置。
既配置水槽付消防ポンプ自動車（いすゞフォワード）東部消防署に配置換。
15. 3. 31 消防職員2名退職、総員103名となる。
-

- 平成15. 4. 1 消防職員2名採用、総員105名となる。
15. 4. 23 救急救命士（登録番号23152号）誕生。
15. 11. 7 予防査察車（ニッサンエクストレイル）本部へ購入配置。
15. 12. 1 高規格救急車（トヨタハイメディック）西部消防署購入配置。
既配置救急車（ニッサンキャラバン）廃車。
16. 3. 5 高規格救急車（トヨタ）西部消防署から嬭恋分署に配置換。
救急車（トヨタハイエース）嬭恋分署から西部消防署に配置換。
16. 3. 31 消防職員2名退職、総員103名となる。
-

- 平成16. 4. 1 消防職員2名採用、総員105名となる。
16. 5. 6 救急救命士（登録番号25417号）誕生。
16. 7. 14 新潟・福島豪雨災害に群馬県緊急消防援助隊として、当広域消防本部から
消火隊1隊及び後方支援隊1隊が出場する。
16. 9. 1 浅間山噴火。対策本部を設置する。
16. 9. 30 消防職員1名退職、総員104名となる。
16. 10. 24 新潟県中越地震に群馬県緊急消防援助隊として、当広域消防本部から消火隊
1隊及び後方支援隊1隊が出場する。
16. 11. 30 救急救命士（登録番号27204号）誕生。
17. 1. 31 高規格救急車（トヨタハイメディック）嬭恋分署購入配置。
高規格救急車（トヨタハイメディック）嬭恋分署から東部消防署に配置換。
既配置救急車（ニッサンキャラバン）廃車。
17. 3. 31 消防職員1名退職、総員103名となる。
-

- 平成17. 4. 1 消防職員3名採用、総員106名となる。
17. 5. 2 救急救命士（登録番号27707号）誕生。
17. 5. 6 指令車（トヨタボクシー）嬭恋分署購入配置。
既配置指令車（トヨタカリブ）廃車。
17. 11. 10 救急救命士（登録番号29089号）誕生。
18. 2. 27 災害対応水槽付消防ポンプ自動車（ヒノレンジャー）中之条分署購入配置。
既配置水槽付消防ポンプ自動車（いすゞフォワード）中之条分署から東部

消防署に配置換。

既配置水槽付消防ポンプ自動車(いすゞフォワード)廃車。

18. 3. 27 吾妻町と東村が合併し、東吾妻町となる。

平成18. 4. 1 消防職員3名採用、総員109名となる。

18. 5. 1 救急救命士(登録番号29946号)誕生。

18. 9. 28～18. 9. 29

第10回群馬県緊急消防援助隊合同訓練開催(会場:東吾妻町総合運動場)。

18. 12. 12 災害対応高規格救急車(トヨタハイメディック)中之条分署購入配置。

既配置救急車(トヨタ2B)中之条分署から西部消防署へ配置換。

西部消防署既配置救急車(トヨタハイエース)廃車。

19. 3. 31 消防職員5名退職、総員104名となる。

平成19. 4. 1 消防職員2名採用、総員106名となる。

19. 4. 19 既廃車救急車(トヨタハイエース)指揮車へ改造登録。

指揮車東部消防署へ配置。

既配置指令車(ニッサンADバン)西部消防署へ配置換。

西部消防署既配置指令車(トヨタカリブ)消防本部へ広報車として配置換。

19. 5. 10 救急救命士(登録番号32190号)、(登録番号32195号)誕生。

19. 9. 20 消防職員1名退職、総員105名となる。

19. 12. 11 消防本部既配置広報車(トヨタカリブ)廃車。

20. 3. 31 消防職員1名退職、総員104名となる。

平成20. 4. 1 消防職員3名採用、総員107名となる。

20. 4. 28 救急救命士(登録番号34195号)、(登録番号34228号)誕生。

21. 3. 31 消防職員4名退職、総員103名となる。

平成21. 4. 1 消防職員3名採用、総員106名となる。

22. 3. 8 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車嬭恋分署購入配置。

既配置水槽付消防ポンプ自動車(いすゞフォワード)廃車。

22. 3. 28 中之条町と六合村が合併し、中之条町となる。

22. 3. 31 消防職員4名退職、総員102名となる。

平成22. 4. 1 農業共済職員2名異動、総員104名となる。

22. 5. 1 臨時職員1名採用。

22. 12. 31 消防職員1名退職、総員103名となる。

23. 3. 4 高規格救急車(トヨタハイメディック)長野原分署購入配置。

既配置救急車(トヨタ2B)長野原分署から消防本部(予備車)へ配置換。

23. 3. 12 東日本大震災に群馬県緊急消防援助隊として、当広域消防本部から救急隊1隊及び後方支援隊1隊が出動する。

(第1次派遣隊～第7次派遣隊：3月12日～4月3日)

23. 3.31 消防職員4名退職、総員99名となる。

平成23. 4. 1 農業共済職員1名異動、消防職員6名採用、総員106名となる。

23. 4. 2 東日本大震災に群馬県緊急消防援助隊として、当広域消防本部から救急隊1隊及び後方支援隊1隊が出動する。

(第8次派遣隊～第9次派遣隊：4月2日～4月8日)

23. 4.11 東日本大震災に群馬県緊急消防援助隊として、当広域消防本部から救急隊1隊及び後方支援隊1隊が出動する。

(第11次派遣隊：4月11日～4月14日)

23. 4.20 東日本大震災に群馬県緊急消防援助隊として、当広域消防本部から救急隊1隊及び後方支援隊1隊が出動する。

(第14次派遣隊：4月20日～4月23日)

23. 5.11 救急救命士(登録番号40692号)誕生。

23. 5.26 東日本大震災に群馬県緊急消防援助隊として、当広域消防本部から救急隊1隊及び後方支援隊1隊が出動する。

(第18次派遣隊：5月26日～5月29日)

23.11.14 資機材搬送車(ニッサンアトラス) 東部消防署購入配置。

既配置資機材搬送車(ホンダアクティ) 東部消防署から老人ホームへ配置換。

既配置資機材搬送車(ニッサンキャラバン) 廃車。

24. 3.31 消防職員6名退職、総員100名となる。

平成24. 4. 1 農業共済職員1名異動、消防職員7名採用(救急救命士1名含む)、総員108名(事務職員1名含む)となる。

24. 5. 9 救急救命士(登録番号43132号)、(登録番号43135号)誕生。

24.12.10 救助工作車(ヒノレンジャー) 東部消防署購入配置。

既配置救助工作車(いすゞフォワード) 廃車。

25. 1.11 消防救急デジタル無線移動局(共通波) 免許交付。

25. 2.20 水槽付消防ポンプ自動車(ヒノレンジャー) 長野原分署購入配置。

既配置水槽付消防ポンプ自動車(いすゞフォワード) 長野原分署から東部消防署に配置換。

東部消防署既配置水槽付消防ポンプ自動車(いすゞフォワード) 廃車。

25. 3.31 消防職員3名退職、総員105名となる。

平成25. 4. 1 消防職員5名採用、総員110名(事務職員1名含む)となる。

25. 5. 2 救急救命士(登録番号45227号)誕生。

25. 7.16 公用車(トヨタハイエース) 吾妻養護老人ホームから消防本部に配置換。

25.11.11 高規格救急車(トヨタハイメディック) 嬭恋分署購入配置。

26. 2. 5 既配置高規格救急車(トヨタハイメディック) 嬭恋分署から東部消防署に配置換。

26. 3.10 消防救急デジタル無線移動局（活動波）免許交付。
消防救急デジタル無線長野原基地局（共通波・活動波）免許交付。
26. 3.31 消防職員7名退職、総員103名となる。
-

- 平成26. 4. 1 消防職員定数120名となる。
消防職員7名採用、総員110名（事務職員1名含む）となる。
26. 4.15 既配置高規格救急車（トヨタハイメディック）東部消防署から西部消防署に配置換。
既配置救急車（トヨタ2B）西部消防署から消防本部に配置換。
26. 5.12 救急救命士（登録番号48202号）（登録番号48163号）（登録番号48164号）（登録番号48172号）誕生。
26. 6.20 東部消防署既配置救急車（トヨタ2B）一般社団法人日本外交協会へ譲渡。
26. 8.20 西部消防署庁舎新築工事着工。
26. 9.18 消防職員1名退職、総員109名となる。
- 26.11.26 連絡車（スズキエブリイワゴン）西部消防署購入配置。
既配置連絡車（スズキキャリー）廃車。
- 26.12.14 既配置高規格救急車（トヨタハイメディック）東部消防署から西部消防署に配置換。
西部消防署既配置高規格救急車（トヨタハイメディック）廃車。
27. 1.20 高規格救急車（ニッサンパラメディック）東部消防署購入配置。
27. 3.31 消防職員2名退職、総員107名となる。
-

- 平成27. 4. 1 消防職員8名採用、総員115名（事務職員1名含む）となる。
指揮隊運用開始。
たかさき消防共同指令センター運用開始に伴う「高崎市・安中市消防組合ほか5一部事務組合消防指令事務協議会」を設置。
27. 6. 2 救急救命士（登録番号51064号）（登録番号51065号）誕生。
27. 6.23 消防職員1名退職、総員114名となる。
27. 9.12 関東・東北豪雨災害に群馬県緊急消防援助隊として、当広域消防本部から消火小隊1隊及び後支援隊1隊が出場する。
- 27.10.10 西部消防署新庁舎竣工式。
- 27.10.15 西部消防署移転業務開始。
- 27.10.31 消防職員1名退職、総員113名となる。
- 27.11. 5 広報連絡車（ニッサンADバン）中之条分署購入配置。
- 27.12. 2 119番回線をたかさき消防共同指令センターへ切換完了（仮運用）。
- 27.12.11 指揮車（トヨタハイエース）東部消防署購入配置。
- 27.12.31 消防職員1名退職、総員112名となる。
28. 1.12 既配置指揮車（トヨタハイエース）東部消防署から西部消防署に配置換。
28. 2.25 高規格救急車（トヨタハイメディック）西部消防署購入配置。
28. 3. 7 既配置高規格救急車（トヨタハイメディック）西部消防署から消防本部

に配置換。

28. 3.31 消防職員3名退職、総員109名となる。

平成28. 4. 1 消防職員8名、再任用職員1名採用、総員118名（事務職員1名含む）となる。

たかさき消防共同指令センター運用開始。

既配置指揮車（トヨタハイエース）東部消防署から消防本部に配置換。

28. 4.28 救急救命士（登録番号52814号）誕生。

28. 6.16 消防職員1名退職、総員117名となる。

28. 9.26 公用車（ニッサンセレナ）消防本部購入配置。

28.11. 2 高規格救急車（トヨタハイメディック）中之条分署購入配置。

28.11.26 広報連絡車（ニッサンADバン）長野原分署購入配置。

28.11.30 中之条分署既配置高規格救急車（トヨタハイメディック）群馬県消防学校へ寄贈。

28.12.31 消防職員1名退職、総員116名となる。

29. 1.31 消防職員1名退職、総員115名となる。

29. 3.31 消防職員6名、再任用職員1名退職、総員108名となる。

平成29. 4. 1 消防職員7名、再任用職員1名採用、総員116名（事務職員1名含む）となる。

29. 4. 1 「吾妻広域消防本部」に名称変更。

29. 4.12 救急救命士（登録番号54446号）誕生。

29. 6. 9 西部消防署既配置指揮車（トヨタハイエース）廃車。

29. 8.31 公用車（スズキスペーシア）消防本部購入配置。

30. 1.23 本白根山噴火災害発生。応援協定に基づき県内全消防本部へ応援要請。

30. 3.16 水槽付消防ポンプ自動車救助工作車兼用車（いすゞフォワード）西部消防署購入配置。

西部消防署既配置救助工作車（いすゞエルフ）廃車。

既配置水槽付消防ポンプ自動車（いすゞフォワード）西部消防署から東部消防署に配置換。

東部消防署既配置水槽付消防ポンプ自動車（いすゞフォワード）廃車。

30. 3.31 消防職員1名退職、総員115名となる。

平成30. 4. 1 消防職員3名、再任用職員1名採用、総員119名（事務職員1名含む）となる。

30. 5.15 救急救命士（登録番号58434号）誕生。

30. 8.10 群馬県防災ヘリコプター「はるな」が中之条町大字入山地内山中に墜落。搭乗者9名全員死亡。うち吾妻広域消防本部所属職員6名。

消防職員6名殉職、総員113名となる。

31. 2. 5 指揮車（トヨタサクシード）西部消防署購入配置。西部消防署既配置指揮車（ニッサンADバン）廃車。

- 3 1. 2. 2 1 高規格救急車（ニッサンキャラバン）長野原分署購入配置。長野原分署既配置救急車（トヨタハイエース）西部消防署に配置換。西部消防署既配置救急車（トヨタグランビア）廃車。
- 3 1. 3. 3 1 消防職員 3 名、再任用職員 1 名退職、総員 109 名となる。
-

- 平成 3 1. 4. 1 消防職員 4 名、再任用職員 2 名採用、総員 115 名（事務職員 1 名含む）となる。
- 3 1. 4. 1 5 救急救命士（登録番号 59790 号）誕生。
- 令和 1. 6. 2 0 消防本部・東部消防署新庁舎建設工事着工。
2. 2. 2 6 屈折はしご付消防自動車分解整備業務委託。
-

- 令和 2. 4. 1 消防職員 5 名採用、総員 120 名（事務職員 1 名含む）となる。
2. 4. 2 0 救急救命士（登録番号 62773 号）誕生。
2. 5. 2 0 消防本部・東部消防署新庁舎完成。
2. 6. 1 5 消防本部・東部消防署移転業務開始。
2. 7. 1 1 群馬県防災ヘリコプター「はるな」事故慰霊碑建立・除幕式。
3. 1. 2 9 水槽付消防ポンプ自動車（いすゞフォワード）東部消防署購入配置
東部消防署既配置水槽付消防ポンプ自動車（いすゞフォワード）廃車。
3. 3. 3 1 事務職員 1 名、再任用職員 1 名退職、総員 118 名となる。
-

- 令和 3. 4. 1 消防職員 2 名採用、総員 120 名となる。
3. 4. 1 4 救急救命士（登録番号 65081 号）誕生。
3. 8. 3 1 消防職員 1 名退職、総員 119 名となる。
3. 1 2. 9 人員搬送車（トヨタハイエース）消防本部購入配置。消防本部既配置人員搬送車（トヨタハイエース）東部消防署に配置換。東部消防署既配置公用車（トヨタハイエース）廃車。
4. 1. 6 高規格救急車（ニッサンパラメディック）嬭恋分署購入配置。嬭恋分署既配置救急車（トヨタハイメディック）西部消防署に配置換。西部消防署既配置救急車（トヨタハイメディック）廃車。
4. 3. 3 1 消防職員 1 名、再任用職員 2 名退職、総員 116 名となる。
-

- 令和 4. 4. 1 消防職員 2 名、再任用職員 1 名採用、総員 119 名となる。
4. 4. 1 1 救急救命士（登録番号 67482 号）誕生。
4. 8. 1 9 消防職員 1 名退職、総員 118 名となる。
4. 9. 3 0 消防職員 1 名退職、総員 117 名となる。
5. 2. 2 7 高規格救急車（ニッサンパラメディック）東部消防署購入配置。東部消防署既配置高規格救急車（トヨタハイメディック）廃車。
5. 3. 3 1 消防職員 1 名退職、総員 116 名となる。
-

- 令和 5. 4. 1 消防職員 3 名採用、総員 119 名となる。

總務

令和4年度組合決算概要

歳入及び歳出

(単位：円)

歳入		歳出	
分担金及び負担金	1,391,321,000	議会費	148,769
使用料及び手数料	16,180,200	総務費	109,582,495
国庫支出金	14,818,000	民生費	283,007,214
県支出金	4,068,000	衛生費	77,303,326
財産収入	8,581	農林水産業費	329,244
寄付金	0	商工費	4,949,180
繰入金	83,738,000	消防費	1,057,925,733
繰越金	48,845,291	教育費	2,220,850
諸収入	139,603,022	公債費	152,068,600
組合債	17,400,000	予備費	0
合計	1,715,982,094	合計	1,687,535,411

各町村の消防費基準財政需要額と負担金

(単位：千円)

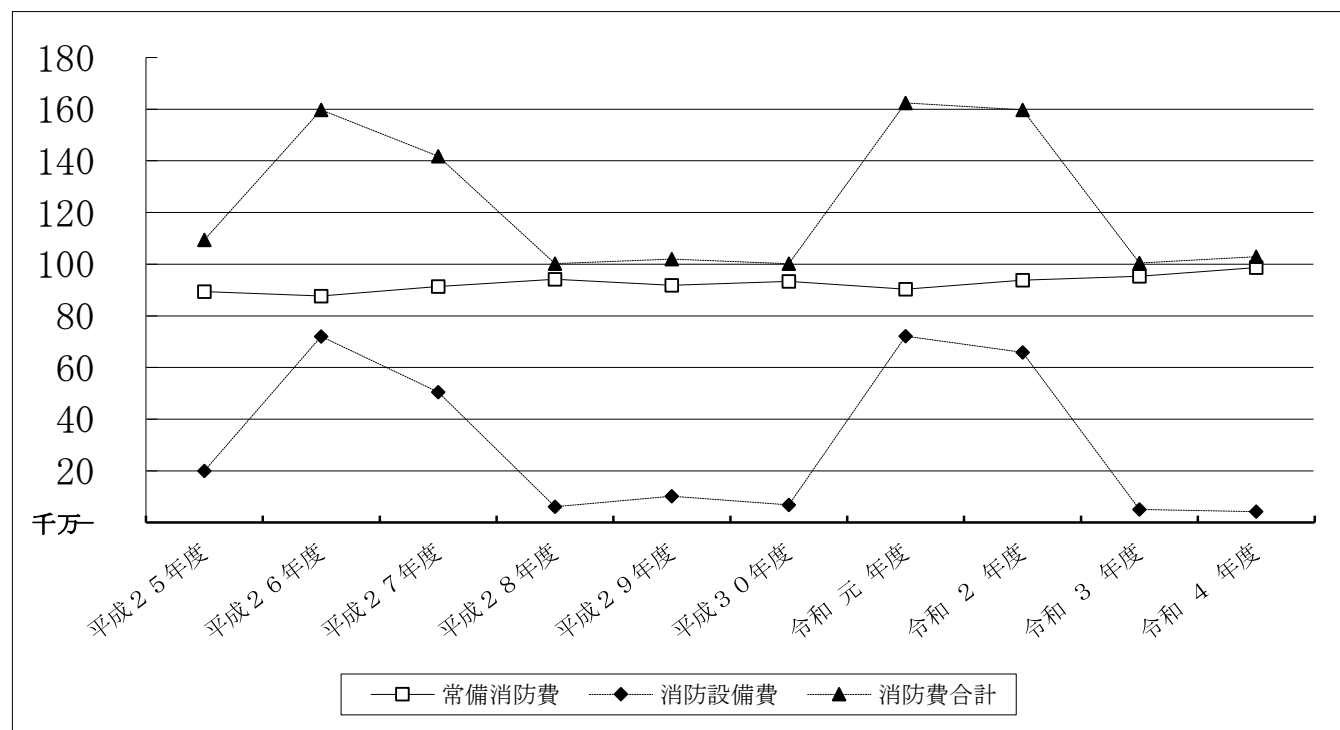
町村名	区分	消防費基準 財政需要額 (3年度)	負担金	消防基準財政需要額に 対する負担割合 (%)
中之条町		342,248	280,906	82.08%
長野原町		167,497	138,611	82.75%
嬭恋村		233,368	193,128	82.76%
草津町		162,209	142,133	87.62%
高山村		128,876	89,600	69.52%
東吾妻町		301,872	269,239	89.19%
合計		1,336,070	1,113,617	83.35%

消防費の推移

(単位：円)

年 度	消 防 費		合 計	一世帯及び住民一人当たりの消防経費	
	常備消防費	消防設備費		一世帯当たり	住民一人当たり
平成25年度	894,049,000	199,669,000	1,093,718,000	46,407	18,174
平成26年度	876,866,000	720,581,000	1,597,447,000	68,200	27,121
平成27年度	913,455,584	504,361,647	1,417,817,231	60,728	24,537
平成28年度	941,348,848	60,601,493	1,001,950,341	42,725	17,633
平成29年度	917,977,785	102,107,469	1,020,085,254	43,384	18,276
平成30年度	933,578,535	68,171,334	1,001,749,869	41,856	18,172
令和元年度	903,050,233	721,322,790	1,624,373,023	68,545	30,038
令和2年度	938,164,928	658,900,220	1,597,065,148	67,532	30,058
令和3年度	953,687,251	50,217,340	1,003,904,591	43,480	19,245
令和4年度	986,780,297	41,812,492	1,028,592,789	48,758	21,035

消 防 費



令和4年度主な事業

(単位：円)

事業名	事業費	国庫補助金	起債	単独	備考
災害対応特殊救急自動車	36,657,732	14,818,000	17,400,000	4,439,732	消防設備整備事業



東部消防署 災害対応特殊救急自動車

消防機関の所在地



西部消防署
(人員25名)



中之条分署
(人員13名)



嬬恋分署
(人員13名)



長野原分署
(人員13名)



消防本部 (人員28名)
東部消防署 (人員27名)

消防機関の所在地

名称	所在地等		所在地		電話番号
				建設年月・構造	
消防本部	群馬県吾妻郡東吾妻町大字植栗1174番地1		令和2年5月 RC造4階建		(代) 0279(68)0119
	群馬県吾妻郡東吾妻町大字植栗1174番地1		令和2年5月 RC造4階建		(代) 0279(68)0119
中之条分署	群馬県吾妻郡中之条町大字伊勢町564番地1		昭和51年3月 RC造2階建		0279(75)4119
	群馬県吾妻郡草津町大字草津2番地6		平成27年10月 鉄骨造3階建		0279(88)0119
長野原分署	群馬県吾妻郡長野原町大字与喜屋甲14番地		昭和50年2月 RC造2階建		0279(82)3119
	群馬県吾妻郡嬭恋村大字大前125番地1		昭和51年1月 RC造2階建		0279(96)1190

消防庁舎の現況

	竣工 (年月)	敷地面積 (㎡)	構造	建物面積 (㎡)				計 (㎡)
				1階	2階	3階	4階	
消防本部 東部消防署	令 2. 5	15,706.8	鉄筋コンクリート造 4階	1,681.5	998.1	820.1	820.1	4,319.8
中之条分署	昭51. 3	1,193.0	鉄筋コンクリート造 2階	175.0	107.3			282.3
西部消防署	平27. 10	1,218.7	鉄骨造 3階	473.9	486.4	65.4		1,025.7
長野原分署	昭50. 2	1,044.5	鉄筋コンクリート造 2階	189.1	108.7			297.8
嬭恋分署	昭51. 1	1,376.0	鉄筋コンクリート造 2階	180.4	107.3			287.7

消防用車両配備調

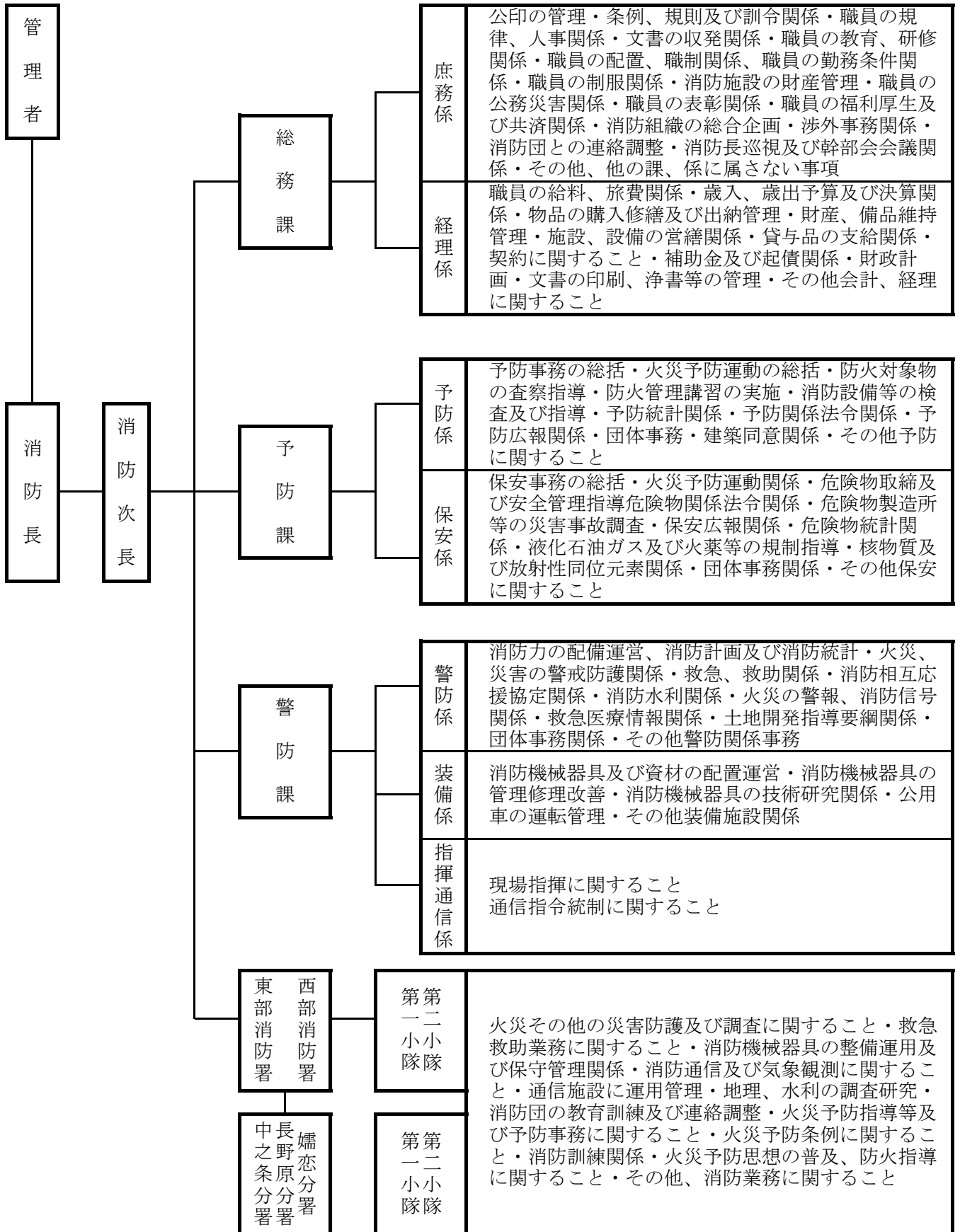
令和5年4月1日

所属	種別	名称	車名	登録番号	級別	艀装会社	補助金別 (千円)	購入年月日	経過年	備考
消防本部	公用車	吾妻本部1	ニッセン	群馬503 さ8281	普通			H28.9.26	6	
	連絡車	吾妻連絡1	スズキ	群馬581 と292	軽乗用			H29.8.31	5	
	人員搬送車	吾妻搬送1	トヨタハイエース ワゴンGL	群馬302 つ8070	普通			R3.12.9	1	
	予防査察車	吾妻予防1	ニッセン エクストレイ	群馬800 す2727	消防	温井自動車		H15.11.6	19	
	危険物指導車	吾妻予防2	スバル	群馬480 こ673	軽貨			H22.3.24	13	
	指揮車	吾妻東部 指揮1	トヨタ ハイエース	群馬831 ひ119	消防	赤尾		H27.12.11	7	
	高規格救急車	吾妻救急1	トヨタ ハイメディック	群馬800 せ2876	高規格	トヨタ	県単1,571	H23.3.4	12	
東部消防署	公用車	吾妻東部 搬送1	トヨタハイエース ワゴンG	群馬300 そ9579	普通			H12.5.31	22	
	水槽付消防ポンプ自動車	吾妻東部 ポンプ1	いすゞ フォワード	群馬800 は2305	水II	日本機械	国庫15,541	R3.1.29	2	水2,000ℓ ^注 緊援隊登録
	水槽付消防ポンプ自動車	吾妻東部 ポンプ2	ミツビシ ファイター	群馬800 は102	水II	モリタ	国庫5,915	H12.2.9	23	水2,000ℓ ^注
	救助工作車	吾妻東部 救助1	ヒレンジャー	群馬800 は1629	救工II	帝国繊維		H24.12.10	10	
	資機材搬送車	吾妻東部 資材1	ニッセン アトラス	群馬800 せ3463	消防	ニッセン		H23.11.14	11	緊援隊登録
	災害対応特殊救急自動車	吾妻東部 救急1	ニッセン パラメディック	群馬800 そ1722	高規格	ニッセン	国庫14,818	R5.2.27	0	緊援隊登録
	高規格救急車	吾妻東部 救急2	ニッセン パラメディック	群馬800 せ6094	高規格	ニッセン	国庫13,557	H27.1.20	8	
中之条分署	指令(広報)車	吾妻中之条 指令1	ニッセン ADバン	群馬800 せ6659	消防	ニッセン		H27.11.5	7	
	水槽付消防ポンプ自動車	吾妻中之条 ポンプ1	ヒレンジャー	群馬800 は918	A2	モリタ	国庫11,033	H18.2.16	17	水2,000ℓ ^注
	高規格救急車	吾妻中之条 救急1	トヨタ ハイメディック	群馬800 せ7372	高規格	トヨタ		H28.11.2	6	
西部消防署	指揮車	吾妻西部 指揮1	トヨタ サクシード	群馬800 せ8904	消防	トヨタ		H31.2.5	4	
	連絡車	吾妻西部 資材1	スズキ エブリイワゴン	群馬480 た7698	軽貨			H26.11.27	8	
	屈折梯子付消防ポンプ自動車	吾妻西部 梯子1	ヒレンジャー	群馬88 ら1689	屈折	モリタ	国庫19,044	H8.3.19	27	(20m級)
	水槽付消防ポンプ自動車	吾妻西部 ポンプ1	いすゞ フォワード	群馬800 は2069	水IA	日本機械		H30.3.16	5	水1,500ℓ ^注
	高規格救急車	吾妻西部 救急1	トヨタ ハイメディック	群馬800 せ6897	高規格	トヨタ		H28.2.25	7	
高規格救急車	吾妻西部 救急2	トヨタ ハイメディック	群馬800 せ5167	高規格	トヨタ		H25.11.11	9		
長野原分署	指令(広報)車	吾妻長野原 指令1	ニッセン ADバン	群馬800 せ7388	消防	ニッセン		H28.11.11	6	
	水槽付消防ポンプ自動車	吾妻長野原 ポンプ1	ヒレンジャー	群馬800 は1645	水IB	モリタ		H25.2.20	10	水1,500ℓ ^注 CAFS
	高規格救急車	吾妻長野原 救急1	ニッセン パラメディック	群馬800 せ8929	高規格	ニッセン		H31.2.21	4	
嬭恋分署	指令(広報)車	吾妻嬭恋 指令1	トヨタ ボクシー	群馬800 す5670	消防	温井自動車		H17.4.28	17	
	水槽付消防ポンプ自動車	吾妻嬭恋 ポンプ1	ヒレンジャー	群馬800 は1380	水IA	モリタ	国庫11,519	H22.3.8	13	水1,500ℓ ^注 CAFS 緊援隊登録
	高規格救急車	吾妻嬭恋 救急1	ニッセン パラメディック	群馬800 そ1018	高規格	ニッセン		R4.1.6	1	

消防職員教養研修調

種 別		教育実日数	人数	教 育 内 容 又 は 教 育 訓 練 到 達 目 標	
救急救命士研修	新規救急救命士研修	126	1	救急救命士の資格を取得するために必要な高度かつ専門的な教育。	
	指導救命士養成研修	30	1	救急救命士の資格を有する消防職員に対して、指導救命士とされる知識及び技術を習得させることを目的とする。	
	処置拡大追加講習	27	2	救急救命士の資格を有する消防職員に対して、心肺機能停止状態でない重度傷病者に対する救急救命処置に必要な知識及び技術を習得させることを目的とする。	
消防大学校	総合教育	幹部科		消防に関する高度の知識及び技術を総合的に習得させ、消防の上級幹部たるに相応しい人材を養成する。	
		上級幹部科		消防に関する高度の知識及び技術を総合的に習得させ、現に消防の上級幹部である者の資質を向上させる。	
	専科教育	警防科		警防業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、警防業務の教育指導者等としての資質を向上させる。	
		救助科		救助業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、救助業務の教育指導者等としての資質を向上させる。	
		救急科		救急隊長等に対し、高度の知識及び能力を総合的に修得させ、救急業務の指導者としての資質を向上させる。(指導救命士養成教育を含む。)	
		予防科		予防業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、予防業務の教育指導者等としての資質を向上させる。	
		危険物科		危険物保安業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、危険物保安業務の教育指導者等としての資質を向上させる。	
火災調査科		火災調査業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、火災調査業務の教育指導者等としての資質を向上させる。			
群馬県消防学校	初任	初任科	112	2	服務義務を理解し、職務意欲が旺盛で住民の信頼が得られること。警防隊員として、基本的な安全管理を理解するとともに、自らの安全を確保し、災害現場では隊長の下命に基づく基本的な活動ができること。消防業務全般について概要を理解していること。住民からの一般的な質問に回答できること。
		警防科	10	2	警防行政の現状及び課題を理解していること。防災関係法令に関する専門的知識及び災害対策に関する最新の知識を豊富に有していること。各種災害事象に対する基本的消防戦術を理解し、災害現場において部隊を適切かつ効果的に指揮できること。
	専科教育	予防査察科	10	2	査察行政の現状及び課題を理解し、与えられた権限を正しく執行できること。防火管理、建築規制、危険物規制及び消防用設備等に関する最新の知識を豊富に有し、査察要領を修得していること。違反処理に係る専門的知識を修得し、違反対象物に対して是正を指導できること。
		危険物科	7	2	危険物行政の現状及び課題を理解し、与えられた権限を正しく執行できること。危険物化学、指定可燃物及び液化石油ガス等に関して災害対策上必要な科学的特性等に係る専門的知識を豊富に有していること。危険物施設に対して許認可等の規制を的確に行い、違反を適切に処理できること。
		火災調査科	10	2	火災調査業務に係る制度を理解し、与えられた権限を正しく執行できること。原因調査、損害調査及び鑑識等に係る専門的知識を豊富に有し、的確な判断能力を備えていること。
		救急科	38	2	救急業務及び救急医学に関する基本的な知識を有していること。応急処置に必要な解剖生理及び各科の疾病状況に関する専門的知識を有しており、応急処置時における的確な観察及び判断能力を備えていること。応急処置に必要な専門的技術を有し、救急用器具の取扱いに精通していること。
	幹部特別教育	救助科	20	2	厳しい条件下での救助活動を遂行しうる旺盛な志気及びび健康な身体を有していること。救助活動に係る最新の専門的知識を豊富に有しており、専門的で高度な技能及び技術を備え、これらを活用した応用力を十分に発揮できること。救助活動及び救助訓練において自らの安全を確保できること。
		上級幹部科	3	1	上級幹部にふさわしい業務管理、人事管理、危機管理に必要な知見を備えるとともに、職員遂行に必要な水準の判断力を有し、組織全体を円滑に管理運営できること。
		無線通信課程	2	1	電波法に基づく第二級陸上特殊無線技士の免許を取得させる。(初任科生も受講)
	特別教育	ポンプ操法指導員課程			ポンプ操法の技術向上と指導者としての育成を図る。
ビデオ硬性挿管用喉頭鏡講習		1	2	ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管に関する実技を習得する。	

機構図及び事務分掌



消防本部・署の職員数調

令和5年4月1日

階級 部署		消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他 の 職 員	計
消防本部	消防長	1								1
	総務課		1	1	1	2				5
	予防課		1	2	1	3				7
	警防課		1	4	4	5	1			15
消防署	東部消防署		1	2	4	11	5	4		27
	西部消防署		1	2	4	8	5	5		25
	中之条分署			1	4	4	2	2		13
	長野原分署			1	4	4	1	3		13
	嬭恋分署			1	4	4	3	1		13
計		1	5	14	26	41	17	15	0	119

※予防課 消防士長1名は再任用。

在職年数調

階級 勤続年数	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他 の 職 員	計
5年未満							15		15
5年以上10年未満					13	16			29
10年以上15年未満					18	1			19
15年以上20年未満				3	8				11
20年以上25年未満				11	2				13
25年以上30年未満			6	12					18
30年以上35年未満			6						6
35年以上	1	5	2						8
計	1	5	14	26	41	17	15	0	119

※5年未満 消防士長1名は再任用。

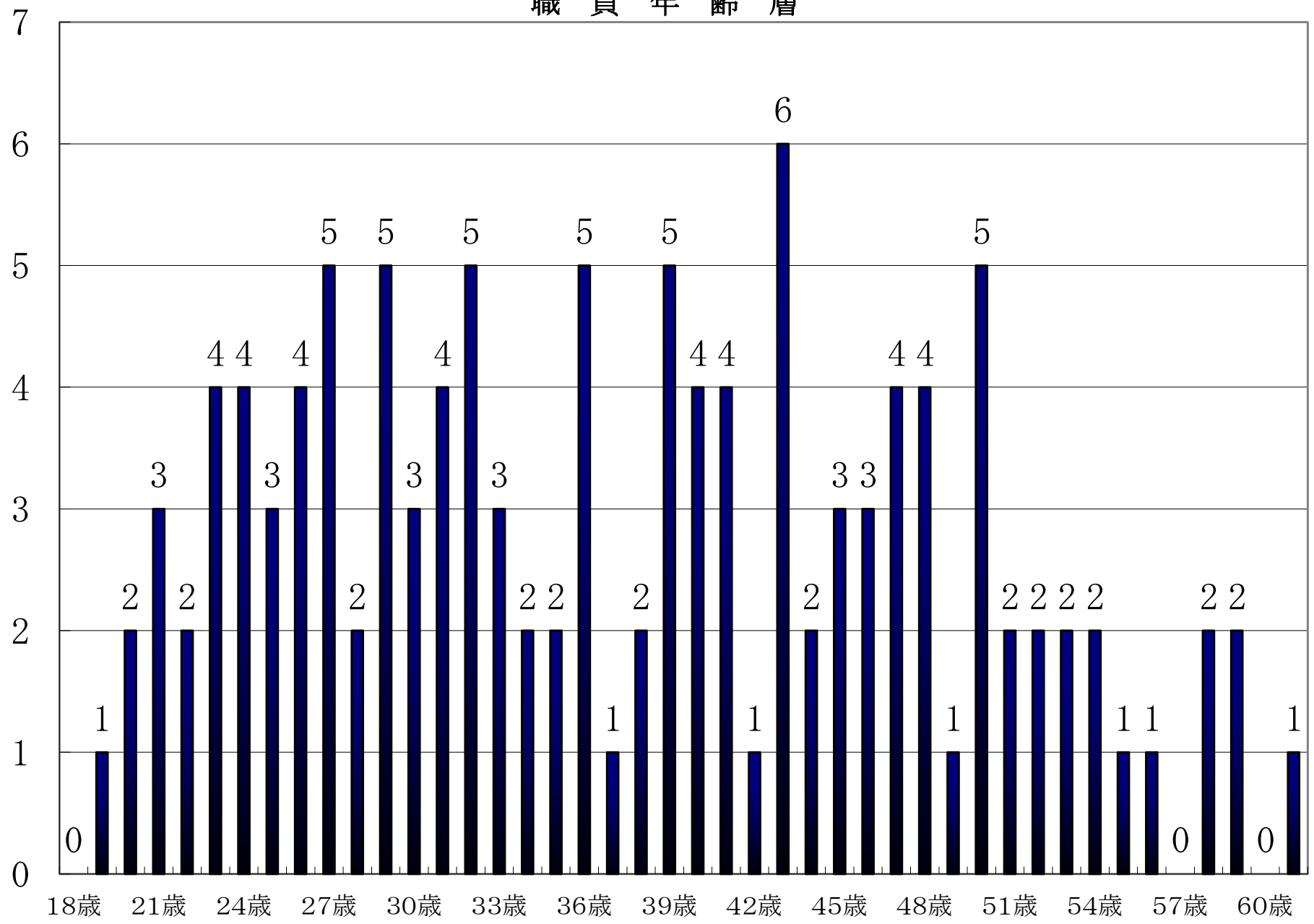
年齢別及び階級別職員調

令和5年4月1日

階級 年齢	消 防 監	消防司令長	消 防 司 令	消防司令補	消 防 士 長	消防副士長	消 防 士	そ の 職 員	計
1 8 歳									0
1 9 歳							1		1
2 0 歳							2		2
2 1 歳							3		3
2 2 歳							2		2
2 3 歳						1	3		4
2 4 歳						3	1		4
2 5 歳						3			3
2 6 歳						3	1		4
2 7 歳						4	1		5
2 8 歳						2			2
2 9 歳					4		1		5
3 0 歳					2	1			3
3 1 歳					4				4
3 2 歳					5				5
3 3 歳					3				3
3 4 歳					2				2
3 5 歳					2				2
3 6 歳					5				5
3 7 歳					1				1
3 8 歳					2				2
3 9 歳					5				5
4 0 歳					4				4
4 1 歳				3	1				4
4 2 歳				1					1
4 3 歳				6					6
4 4 歳				2					2
4 5 歳				3					3
4 6 歳				3					3
4 7 歳				4					4
4 8 歳			1	3					4
4 9 歳			1						1
5 0 歳			4	1					5
5 1 歳			2						2
5 2 歳			2						2
5 3 歳			2						2
5 4 歳			2						2
5 5 歳		1							1
5 6 歳		1							1
5 7 歳									0
5 8 歳		2							2
5 9 歳	1	1							2
6 0 歳									0
6 1 歳					1				1
計	1	5	14	26	41	17	15	0	119

※61歳 消防士長1名は再任用。

職員年齡層



職員住所地別配置人員

令和5年4月1日

部署別 町村名	消 防 本 部	東部消防署	東部消防署 中之条分署	西部消防署	西部消防署 長野原分署	西部消防署 嬭恋分署	合 計
中 之 条 町	14	12	6	9	4	8	53
長 野 原 町	1			1	2	1	5
嬭 恋 村	3	3	2	5	1	1	15
草 津 町	1	2	1	1	1		6
高 山 村	1	1					2
東 吾 妻 町	6	7	2	7	4	3	29
郡 外	2	2	2	2	1		9
合 計	28	27	13	25	13	13	119

消防職員 1 人に対する人口・世帯数の推移

区 分 年月日	職員数 (事務職員 を除く)	人 口	世 帯 数	消防職員 1 人に対する	
				人 口	世 帯 数
平成 20 年 4 月 1 日	107	64,951	23,507	607	220
平成 21 年 4 月 1 日	106	64,943	23,469	613	221
平成 22 年 4 月 1 日	104	63,328	23,419	609	225
平成 23 年 4 月 1 日	106	62,452	23,404	589	221
平成 24 年 4 月 1 日	107	61,732	23,413	577	219
平成 25 年 4 月 1 日	109	60,893	23,484	559	215
平成 26 年 4 月 1 日	109	60,180	23,568	552	216
平成 27 年 4 月 1 日	114	58,900	23,423	517	205
平成 28 年 4 月 1 日	116	57,782	23,347	498	201
平成 29 年 4 月 1 日	115	56,823	23,451	494	204
平成 30 年 4 月 1 日	118	55,817	23,513	473	199
平成 31 年 4 月 1 日	114	55,127	23,933	484	210
令 和 2 年 4 月 1 日	119	54,077	23,698	454	199
令 和 3 年 4 月 1 日	120	53,133	23,649	443	197
令 和 4 年 4 月 1 日	119	52,164	23,089	438	194
令 和 5 年 4 月 1 日	119	51,011	23,340	429	196

予 防

町村別防火対象物の状況（令別表第1による区分）

令和5年3月31日

用途別		町村別	中之条町	長野原町	嬭恋村	草津町	高山村	東吾妻町	合計
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	1			4		1	6
	ロ	公会堂・集会場	13	7	22	9	7	16	74
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等							0
	ロ	遊技場・ダンスホール等	1		4	3			8
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗							0
	ニ	カラオケボックス等						1	1
3	イ	待合・料理店等							0
	ロ	飲食店	17	19	23	18	2	13	92
4		百貨店・マーケット・その他の店舗等	26	16	12	22	5	30	111
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	63	48	165	173	8	16	473
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	68	32	33	141	5	39	318
6	イ	病院・診療所・助産所	17	5	2	9	1	6	40
	ロ	老人介護施設・障害者支援施設等	12	3	5	3	3	9	35
	ハ	保育所・デイサービス等	11	5	5	2		12	35
	ニ	幼稚園・養護学校等	3		1		2	7	13
7		小・中・高校・大学・各種学校	20	10	7	2	6	9	54
8		図書館・博物館・美術館等	2	2	1	2	2		9
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場							0
	ロ	イ以外の公衆浴場	2	2	4	6	1	3	18
10		車両の停車場等	1	3	1				5
11		神社・寺院・教会等	11	4	8	9	2	13	47
12	イ	工場・作業場	46	19	24	4	5	71	169
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ							0
13	イ	自動車車庫・駐車場	8	8	7	8	1	6	38
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫							0
14		倉庫	15	22	19	5	13	38	112
15		前各号に該当しない事業場	107	98	51	34	27	171	488
16	イ	特定用途複合防火対象物	32	21	24	53	5	14	149
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	8	6	3	9	1	1	28
17		重要文化財等	2						2
合計			486	330	421	516	96	476	2,325

消防用設備等の設置届検査件数（月別）

令和5年3月31日

設備別	月別												計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
消火器	3	1		1	5	1	4		7	1	5	4	32
屋内消火栓設備		1					1	2		1	1	1	7
スプリンクラー設備							1		1			2	4
水噴霧消火設備													0
泡消火設備													0
二酸化炭素消火設備													0
ハロゲン化物消火設備													0
粉末消火設備	1												1
屋外消火栓設備													0
動力消防ポンプ													0
自動火災報知設備	10	6	3	10	9	5	9	3	14	6	6	15	96
ガス漏れ火災警報設備													0
漏電火災警報器							1						1
火災報知設備		2	1	1			1	1			1	2	9
非常警報設備							1		3		1	2	7
避難器具							1				1		2
誘導灯	4	2		2	2	1	4	1	8	1	6	5	36
消防用水													0
排煙設備													0
連結散水設備													0
ドレンチャージャー設備													0
連結送水管設備							1						1
非常コンセント													0
パッケージ型消火設備									1			1	2
計	18	12	4	14	16	7	24	7	34	9	21	32	198
検査件数	12	9	4	11	11	5	13	6	16	8	9	17	121

火災予防条例関係届出件数（月別）

令和5年3月31日

届出別	月別												計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
防火対象物使用開始届	20	8	10	11	12	9	14	7	21	11	9	17	149
火災と紛らわしい煙又は火災を発生するおそれのある行為	3	4	7	12	3	7	6	11	17	17	4	4	95
煙火の打ち上げ又は仕掛け	7			7		1	1	1					17
催物の開催		2											2
水道の断水又は減水道路工事	12	8	28	23	16	17	27	20	16	6	11	10	194
指定洞道（新規・変更・廃止）													0
露店等の開設届出書		2		1	1		1			1		1	7
炉・厨房・暖房器具ボイラー・ヒートポンプ	2	1	2	1	1	2	3	4	4	2	3	4	29
変電・発電・蓄電設備			5	3	1	5	4	3	5	6		8	40
ネオン管灯設備													0
上記届出の廃止届						4	1	2		1		3	11
水素ガスを充填する気球													0
合計	44	25	52	58	34	45	57	48	63	44	27	47	544

月別建築同意件数

令和5年3月31日

種別 月別	新築	増築	改築	移転	用途 変更	模様替	設備 工作物	計画 変更	計
4月	6							1	7
5月	3				1				4
6月	7	2							9
7月	6				1			1	8
8月	4								4
9月	4							1	5
10月	6								6
11月								1	1
12月	3				1				4
1月	2	1							3
2月	3							1	4
3月	4								4
計	48	3	0	0	3	0	0	5	59

町村別建築同意件数

令和5年3月31日

種別 町村別	新築	増築	改築	移転	用途 変更	模様替	設備 工作物	計画 変更	計
中之条町	6							1	7
長野原町	7				1			2	10
嬭恋村	18	1			1				20
草津町	6				1			2	9
高山村	1								1
東吾妻町	10	2							12
計	48	3	0	0	3	0	0	5	59

危険物施設の許認可等事務処理状況

令和5年3月31日

製造所等の別 種別		製 造 所	貯 蔵 所						取扱所		合 計	
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所		一 般 取 扱 所
許 可	設 置				1		2				3	
	変 更				7		2		8	2	19	
	常置場所の 変更	他許可行政庁に転出						2				2
		他許可行政庁から転入										0
完 成 検 査	設 置				1		2				3	
	変 更				6		2		7		15	
	他許可行政庁から転入											0
廃 止 届					6		3			1	10	
	完成検査前に設置許可の取り消し処分										0	
完 成 検 査 前 検 査									2		2	
休 止 届										2	2	
使 用 再 開											0	
仮 使 用 承 認					6				5		11	
保 安 監 督 者 選 任 届			1	4		3			17	9	34	
保 安 監 督 者 解 任 届						2			7	1	10	
譲 度 引 渡 届						8		4	4	2	18	
種 類 数 量 変 更 届											0	
資 料 提 出			3	4		51		4	40	16	118	
合 計		0	4	8	0	91	0	21	0	90	33	247

数量別危険物施設数

令和5年3月31日

製造所等の別 種 別	製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所			合 計		
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所		一 般 取 扱 所	小 計
指 定 数 量 の 5 倍 以 下		6	6	13	92		76		193	15	43	58	251
指 定 数 量 の 5 倍 を 越 え 1 0 倍 以 下		1	12	4	47			1	65	12	16	28	93
〃 1 0 倍 を 越 え 5 0 倍 以 下		4	13	1	53				71	32	19	51	122
〃 5 0 倍 を 越 え 1 0 0 倍 以 下					9		1		10	11	1	12	22
〃 1 0 0 倍 を 越 え 1 5 0 倍 以 下		2							2	11	1	12	14
〃 1 5 0 倍 を 越 え 2 0 0 倍 以 下		7							7	9		9	16
〃 2 0 0 倍 を 越 え 1 0 0 0 倍 以 下					1				1	7		7	8
合 計	0	20	31	18	202	0	77	1	349	97	80	177	526

町村別危険物施設数

令和5年3月31日

製造所等の別 町 村 別	製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所			合 計		
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所		一 般 取 扱 所	小 計
中 之 条 町		6		1	35		12		54	18	12	30	84
長 野 原 町		1	5		23		21		50	19	9	28	78
孺 恋 村			13	7	48		23		91	26	16	42	133
草 津 町				6	68		10	1	85	6	17	23	108
高 山 村		1	3	1	8		1		14	11	1	12	26
東 吾 妻 町		12	10	3	20		10		55	17	25	42	97
合 計	0	20	31	18	202	0	77	1	349	97	80	177	526

火 災

令和4年火災概況（前年比較）

区 分		令和4年	令和3年	増 減
出 火 件 数 (件)	建 物 火 災	12	18	-6
	林 野 火 災	1	3	-2
	車 両 火 災	1	2	-1
	そ の 他 火 災	6	10	-4
	計	20	33	-13
焼 損 棟 数 (棟)	全 焼	9	15	-6
	半 焼	1	3	-2
	部 分 焼	3	10	-7
	ぼ や	5	4	1
	計	18	32	-14
建物焼損床面積 (㎡)		1,670	2,784	-1,114
建物焼損表面積 (㎡)		17	79	-62
林野焼損面積 (a)		16	131	-115
死 傷 者	死 者	0	1	-1
	負 傷 者	2	6	-4
	計	2	7	-5
り 災 世 帯		7	11	-4
り 災 人 員		10	24	-14
損 害 額 (千円)	建 物 火 災	113,070	173,765	-60,695
	林 野 火 災	0	0	0
	車 両 火 災	7,161	30	7,131
	そ の 他 火 災	2,771	330	2,441
	計 (千円)	123,002	174,125	-51,123
一 日 当	出 火 件 数 (件)	0.05	0.09	-0.04
	建物焼損棟数 (棟)	0.05	0.09	-0.04
	建物焼損面積 (㎡)	4.58	7.63	-3.06
	林野焼損面積 (a)	0.04	0.36	-0.32
	死 者 (人)	0.00	0.00	0.00
	負 傷 者 (人)	0.01	0.02	-0.01
	り 災 世 帯 (世帯)	0.02	0.03	-0.01
	り 災 人 員 (人)	0.03	0.07	-0.04
	損 害 額 (千円)	336.99	477.05	-140.06
一 件 当	建物焼損面積 (㎡)	139.17	154.67	-15.55
	林野焼損面積 (a)	15.82	43.67	-27.85
	損 害 額 (千円)	6,150.10	5,276.52	873.58
出 火 率 (1万人当)		3.88	6.29	-2.41

原因別火災発生状況

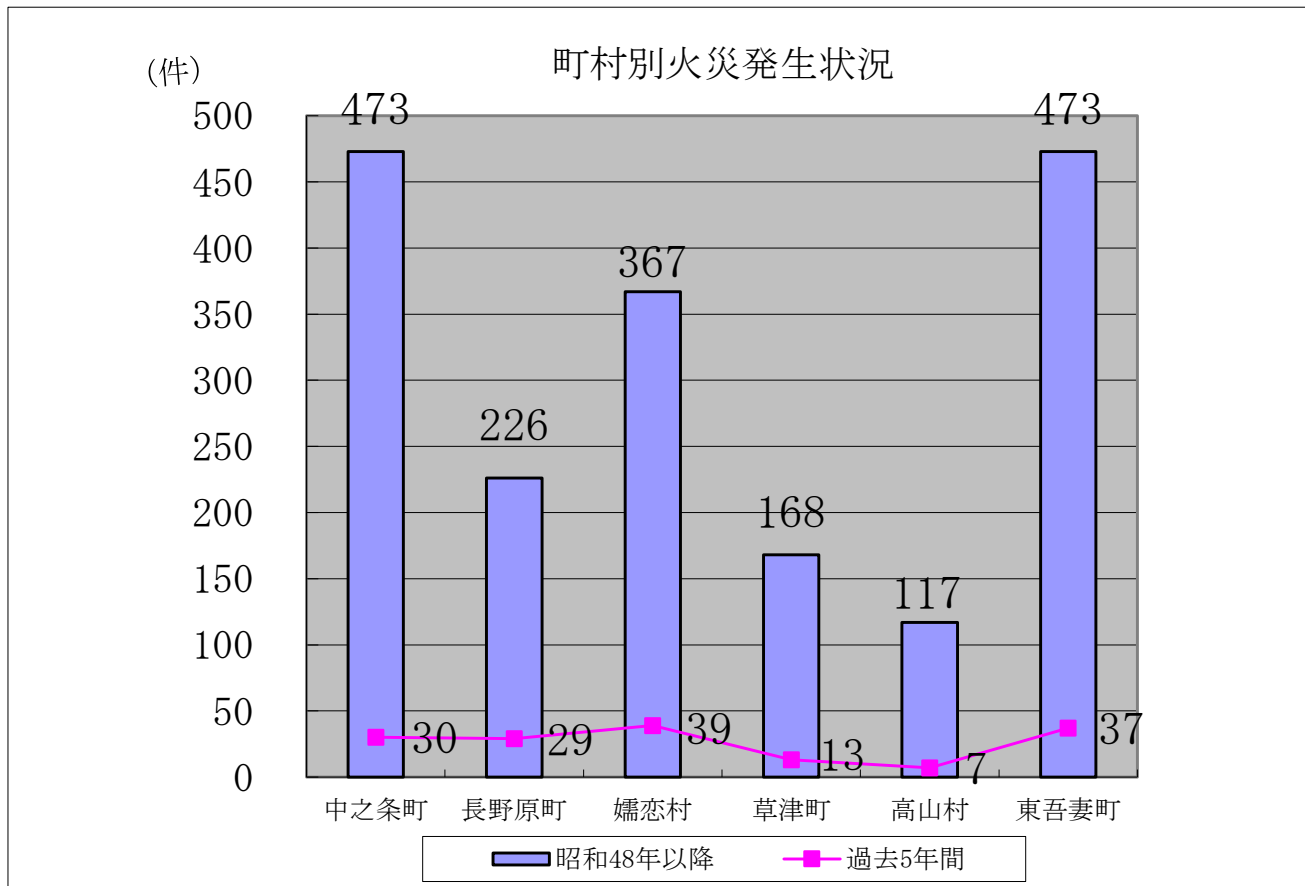
原因別	火災 件数	火災種別				焼 全 焼	損 半 焼	棟 部 分 焼	数 ぼ や
		火 建 物	災 林 野	種 車 両	別 そ の 他				
たばこ	1	1						1	
こんろ									
かまど									
風呂かまど	1	1			1	1	1		
炉									
焼却炉									
ストーブ	1	1			2				
こたつ									
ボイラー									
煙突・煙道	1	1					1		
排気管									
電気機器	1				1				
電気装置	1	1						1	
電灯・電話等の配線	3	1	1		1			1	
内燃機関									
配線器具									
火あそび									
マッチ・ライター									
たき火									
溶接機・切断機									
灯火									
衝突の火花									
取灰									
火入れ	1				1				
放火									
放火の疑い	1	1			1				
その他	2	1			1	1			
不明・調査中	7	4		1	2	4	1	2	
計	20	12	1	1	6	9	1	3	

町村別火災発生状況

区 分		単位	中之条町	長野原町	嬭恋村	草津町	高山村	東吾妻町	合 計
火 災 件 数		件	6	1	8			5	20
火 災 種 別	建 物	〃	3	1	8				12
	林 野	〃						1	1
	車 両	〃						1	1
	そ の 他	〃	3					3	6
焼 損 棟 数		棟	5	1	12				18
焼 損 程 度	全 焼	〃	2	1	6				9
	半 焼	〃	1						1
	部 分 焼	〃	1		2				3
	ぼ や	〃	1		4				5
り 災 世 帯 数		世帯	3		4				7
程 度	全 損	〃	2		2				4
	半 損	〃							0
	小 損	〃	1		2				3
り 災 人 員		人	5		5				10
焼 損 面 積	建 物	床面積	m ²	673	699	298			1,670
		表面積	〃	13		4			17
	林野面積	a	6					10	16
車 両 焼 損 台 数		台			2			1	3
死 者		人							0
負 傷 者		〃	1	1					2
損 害 額 合 計		千円	16,038	75,430	24,268	0	0	7,266	123,002
火 災 種 別	建 物	〃	13,372	75,430	24,268				113,070
	林 野	〃							0
	車 両	〃						7,161	7,161
	そ の 他	〃	2,666					105	2,771
出火率（1万人当り）			4.02	1.88	8.72	0.00	0.00	3.95	3.88

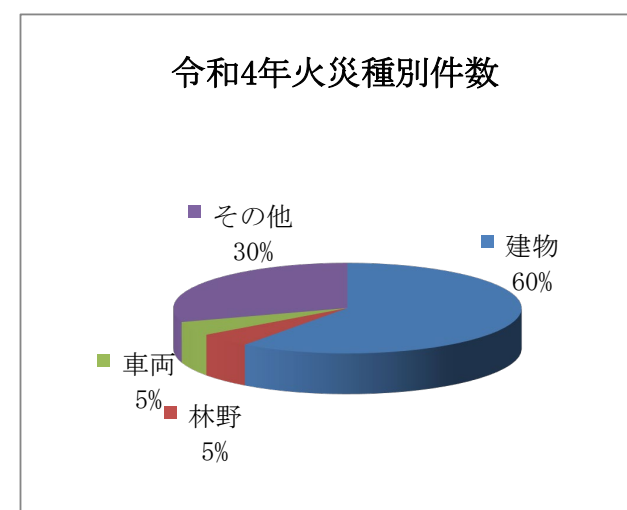
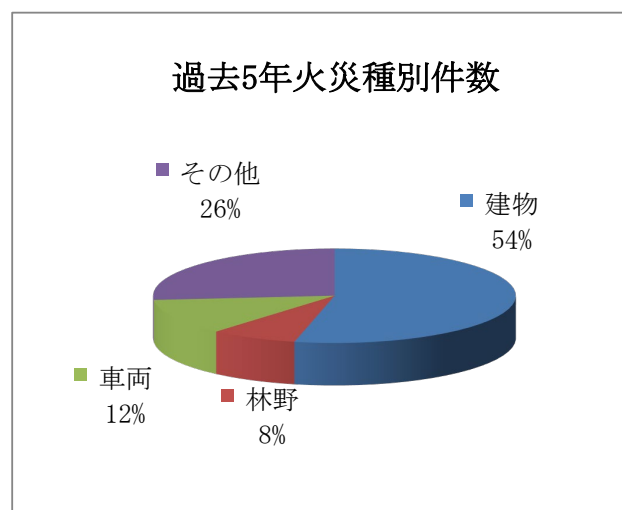
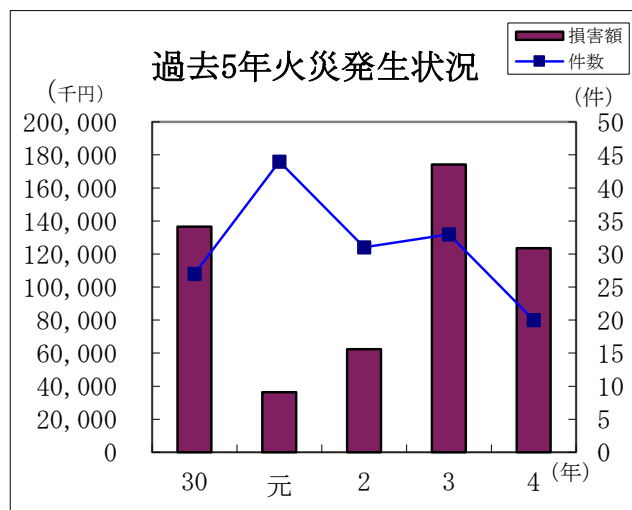
町 村 別 火 災 発 生 状 況

	中之条町	長野原町	嬭恋村	草津町	高山村	東吾妻町	合 計
昭和48年以降	473	226	367	168	117	473	1,824
過去5年間	30	29	39	13	7	37	155



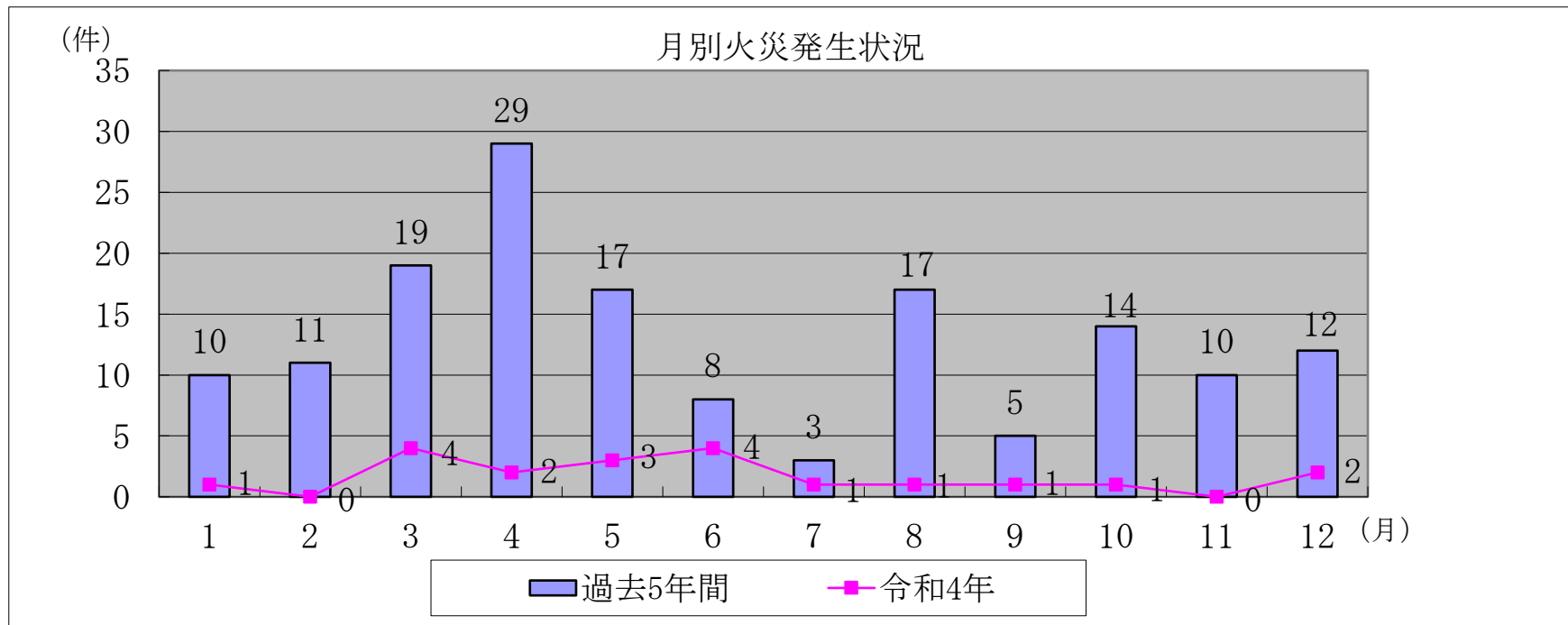
過去5年間の火災発生状況

区分 年	火災 件数	損害額 (千円)	種別(件数)				建 物						林 野		車 両		その他	死 傷 者		出火率 1万人当
			建物	林野	車両	その他	棟数	焼損面積(m ²)		世帯	人員	損害額 (千円)	焼損面積 (a)	損害額 (千円)	台数	損害額 (千円)	損害額 (千円)	死者	負傷者	
								床面積	表面積											
平成30年	27	136,614	16	4	1	6	25	1,595	109	8	18	136,314	55	0	1	300	0	2	5	4.89
令和元年	44	36,283	21	2	9	12	26	666	119	12	23	33,909	55	0	9	2,307	67	0	9	8.10
令和2年	31	62,317	16	2	6	7	41	1,971	49	11	18	59,131	25	0	11	3,186	0	0	7	5.79
令和3年	33	174,125	18	3	2	10	32	2,784	79	11	24	173,765	131	0	4	30	330	1	6	6.29
令和4年	20	123,640	12	1	1	6	18	1,670	17	7	10	113,070	16	0	3	7,799	2,771	0	2	3.88
合 計	155	532,979	83	12	19	41	142	8,686	373	49	93	516,189	282	0	28	13,622	3,168	3	29	
平 均	31.0	106,595.8	16.6	2.4	3.8	8.2	28.4	1,737.1	74.7	9.8	18.6	103,237.8	56.4	0.0	5.6	2,724.4	633.6	0.6	5.8	5.79



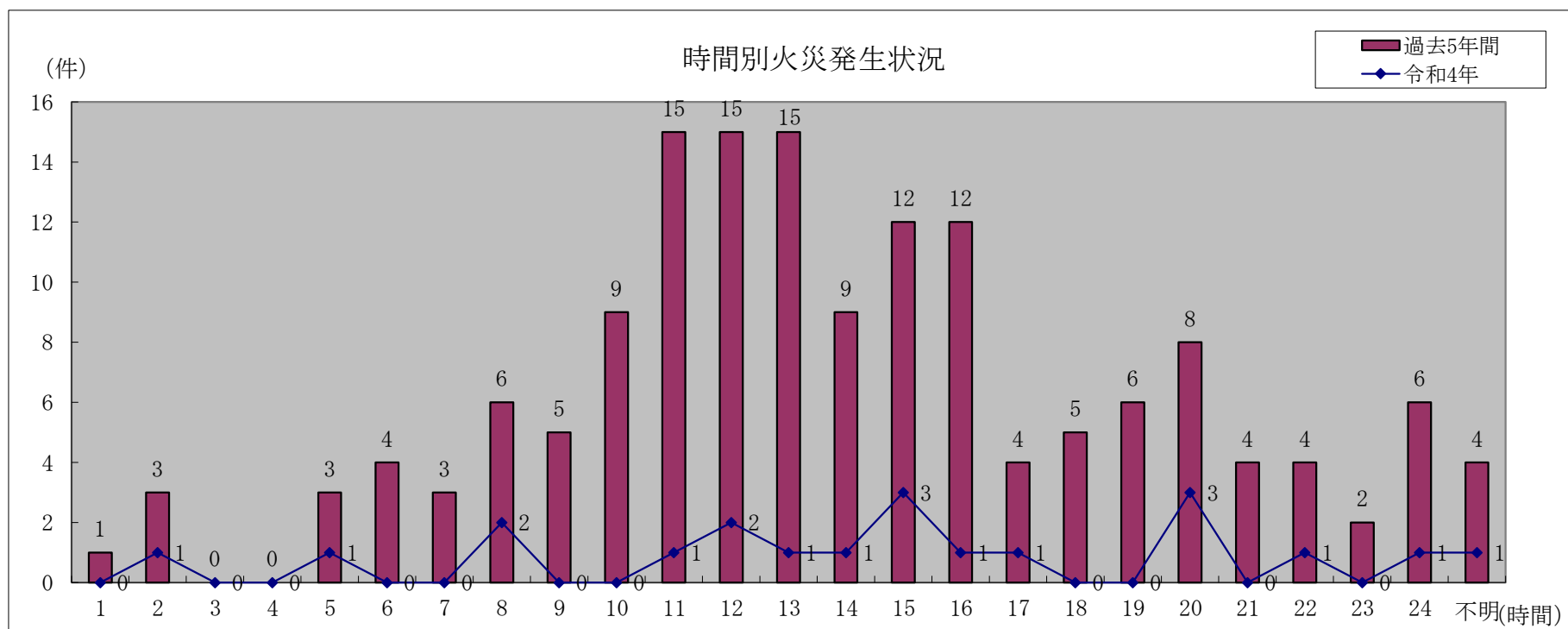
月 別 火 災 発 生 状 況

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
平成30年	2	3	5	4	2	1		5		1	3	1	27
令和元年	2	3	4	6	5	1		10	3	4	3	3	44
令和2年	2	3	4	4	2	1	2			6	2	5	31
令和3年	3	2	2	13	5	1		1	1	2	2	1	33
令和4年	1		4	2	3	4	1	1	1	1		2	20
合 計	10	11	19	29	17	8	3	17	5	14	10	12	155
平 均	2.0	2.2	3.8	5.8	3.4	1.6	0.6	3.4	1.0	2.8	2.0	2.4	31.0



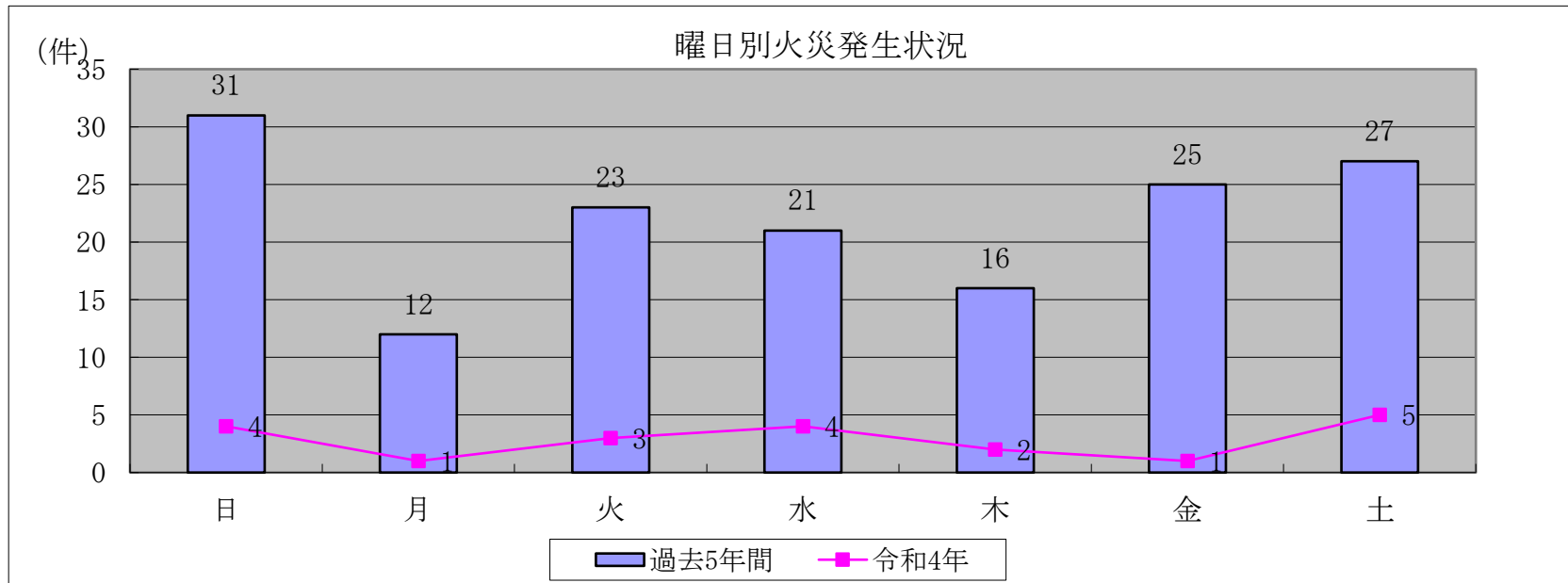
時間別火災発生状況

時間 年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	不明	合計
平成30年					1		1		1	5	4	3	3	1	2	2		1		1		1		1		27
令和元年	1	1				2	2	2	3	1	3	2	2	3	2	2	1	3	3	2	3	1	1	2	2	44
令和2年					1	1		1	1	1	4	4	5	2	2	3			1	2	1		1		1	31
令和3年		1				1		1		2	3	4	4	2	3	4	2	1	2			1		2		33
令和4年		1			1			2			1	2	1	1	3	1	1			3		1		1	1	20
合計	1	3	0	0	3	4	3	6	5	9	15	15	15	9	12	12	4	5	6	8	4	4	2	6	4	155
平均	0.3	0.6	0.0	0.0	0.6	1.0	0.8	1.2	1.3	2.3	3.0	3.0	3.0	1.8	2.4	2.4	0.8	1.3	1.5	1.6	1.0	0.8	0.5	1.2	0.8	31.0



曜 日 別 火 災 発 生 状 況

年 \ 曜日	日	月	火	水	木	金	土	合 計
平成30年	6	1	4	2	2	3	9	27
令和元年	10	3	4	9	4	7	7	44
令和2年	7	1	6	5	4	6	2	31
令和3年	4	6	6	1	4	8	4	33
令和4年	4	1	3	4	2	1	5	20
合 計	31	12	23	21	16	25	27	155
平 均	6.2	2.4	4.6	4.2	3.2	5.0	5.4	31.0



町村消防水利調

(消防防災現況調より)

種 別 町村別	消 火 栓	防 火 水 槽				合 計
		100 m ³ 以上	60 m ³ 以上 100 m ³ 未 満	40 m ³ 以上 60 m ³ 未 満	20 m ³ 以上 40 m ³ 未 満	
中之条町	303	1		304	107	715
長野原町	227		2	67	14	310
嬭恋村	132	4		123	10	269
草津町	211				45	256
高山村	132	24	65	14	9	244
東吾妻町	258			293		551
合 計	1,263	29	67	801	185	2,345

火災予防運動標語一覧

昭和 48年度	隣にも声かけあってよい防火
49年度	生活の一部にしよう火の点検
50年度	幸せを明日につなぐ火の始末
51年度	火災は人災 防ぐはあなた！
52年度	使う火を消すまで離すな目と心
53年度	それぞれの持ち場で生かせ火の用心
54年度	これくらいと思う油断を火がねらう
55年度	あなたです！火事を出すのも防ぐのも
56年度	毎日が防火デーです ぼくの家
57年度	火の用心 心で用心 目で用心
58年度	点検は防火のはじまり締めくくり
59年度	”あとで”より”いま”が大切 火の始末
60年度	怖いのは「消したつもり」と「消えたはず」
61年度	防火の大役 あなたが主役
62年度	消えたかな！ 気になるあの火 もう一度
63年度	その火 その時 すぐ始末
平成 元年度	おとなりに あげる安心 火の始末
2年度	まず消そう 火への鈍感 無関心
3年度	毎日が 火の元警報 発令中
4年度	点検を重ねて築く ”火災ゼロ”
5年度	防火の輪 つなげて広げて なくす火事
6年度	安心の 暮らしの中心 火の用心
7年度	災害に 備えて日頃の 火の用心
8年度	便利さに 慣れて忘れる 火のこわさ
9年度	つけた火は ちゃんと消すまで あなたの火
10年度	気をつけて はじめはすべて 小さな火
11年度	あぶないよ ひとりぼっちにした その火
12年度	火をつけた あなたの責任 最後まで
13年度	たしかめて。火を消してから 次のこと
14年度	消す心 置いてください 火のそばに
15年度	その油断 火から炎へ 災いへ
16年度	火はけした？ いつも心に きいてみて
17年度	あなたです 火のあるくらしの 見はり役
18年度	消さないで あなたの心の 注意の火
19年度	火は見てる あなたが離れる その時を
20年度	火のしまつ 君がしなくて 誰がする

平成 21年度	消えるまで ゆっくり火の元 にらめっ子
22年度	「消したかな」あなたを守る 合言葉
23年度	消したはず 決めつけないで もう一度
24年度	消すまでは 出ない行かない 離れない
25年度	消すまでは 心の警報 ONのまま
26年度	もういいかい 火を消すまでは まあだだよ
27年度	無防備な 心に火災が かくれんぼ
28年度	消しましょう その火その時 その場所で
29年度	火の用心 ことばを形に 習慣に
30年度	忘れてない？ サイフにスマホに 火の確認
令和 元年度	ひとつずつ いいね！で確認 火の用心
2年度	その火事を 防ぐあなたに 金メダル
3年度	おうち時間 家族で点検 火の始末
4年度	お出かけは マスク戸締り 火の用心
5年度	火を消して 不安を消して つなぐ未来

救 助

令和4年救助概要

	火 災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
	建物	建物以外									
出動件数			23	2						34	59
活動件数			9	2						20	31
出 動 人 員	救助隊員		79	6						108	193
	消防隊員		46	6						66	118
	救急隊員		96	6						102	204
	消防団員										0
	計	0	0	221	18	0	0	0	0	0	276
活 動 人 員	救助隊員		20	6						47	73
	消防隊員		12	6						20	38
	救急隊員		33	3						57	93
	消防団員										0
	計	0	0	65	15	0	0	0	0	0	124
出 動 車 両	救助工作車		12							17	29
	消防ポンプ車		13	2						16	31
	屈折梯子車										0
	指 令 車		24	2						33	59
	救 急 車		32	2						34	68
	そ の 他		1	1						1	3
	消防団車両										0
	計	0	0	82	7	0	0	0	0	0	101
活 動 車 両	救助工作車		5							7	12
	消防ポンプ車		1	2						7	10
	屈折梯子車										0
	指 令 車		6	2						11	19
	救 急 車		11	1						19	31
	そ の 他			1						1	2
	消防団車両										0
	計	0	0	23	6	0	0	0	0	0	45
発 生 場 所	屋内(住宅含)									13	13
	道 路		18							1	19
	水 面			2						2	4
	山 岳		1							10	11
	そ の 他		4							8	12
	計	0	0	23	2	0	0	0	0	0	34
救助人員			10	2						21	33

過去5年間の救助活動状況

種 別 \ 年	平成30年		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年	
	出動件数	救助人員	出動件数	救助人員	出動件数	救助人員	出動件数	救助人員	出動件数	救助人員
火 災										
交 通 事 故	30	7	22	14	17	8	17	7	23	9
水 難 事 故			6	2	6	5	3	1	2	2
自 然 災 害	1	91								
機 械 に よ る 事 故			3	2	2	2	1	1		
建 物 等 に よ る 事 故										
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故										
破 裂 事 故										
そ の 他	19	20	24	18	21	15	23	11	34	20
合 計	50	118	55	36	46	30	44	20	59	31

令和4年 消防防災ヘリコプター応援要請内容

種別	火災	救助	救急	災害応急	その他	合計
件数	0	6	0	0	0	6

件数	種別	要請日時	要請場所	要請事故概要
1	救助	2月13日	草津町	机の上から転落し負傷。車両進入不可地域のため救助要請。 群馬県防災ヘリコプターにて救助し活動終了となる。
		12時17分	芳ヶ平	
2	救助	5月4日	東吾妻町	登山中に体調不良、両手足のしびれを発症し救助要請。 群馬県防災ヘリコプターにて救助し活動終了となる。
		11時55分	烏帽子ヶ岳	
3	救助	10月29日	東吾妻町	登山中に足を挫き体動困難のため救助要請。 群馬県防災ヘリコプターにて救助し活動終了となる。
		15時54分	岩櫃山	
4	救助	11月6日	中之条町	登山中に2名が滑落し救助要請。 群馬県防災ヘリコプターにて救助し活動終了となる。
		12時46分	石尊山山頂付近	
5	救助	11月11日	中之条町	登山中に滑落し救助要請。 群馬県防災ヘリコプターにて救助し活動終了となる。
		15時58分	石尊山山頂付近	
6	救助	11月26日	中之条町	クライミング中に滑落し救助要請。 ピックアップ困難、地上隊で搬出できるためキャンセルとなる。
		13時44分	偏屈岩	

救 急

令和4年救急業務実施概要（1月～12月）

署別	種別 出場 人員数	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計	全件数に 対する 署別割合	一日 当たり
												転院搬送	医師搬送	資機材 搬送	その他			
東 部 署	出場件数	8			48	13	1	98		5	486	135	4		2	800	22.9%	2.2
	搬送人員	1			50	13	1	89		3	452	134				743	24.6%	2.0
	人員割合%	0.13%	0.00%	0.00%	6.73%	1.75%	0.13%	11.98%	0.00%	0.40%	60.83%	18.03%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%		
中 之 条 分 署	出場件数				33	8	1	137	1	6	544	74	4		1	809	23.1%	2.2
	搬送人員				38	8		121	1	3	476	73				720	23.9%	2.0
	人員割合%	0.00%	0.00%	0.00%	5.28%	1.11%	0.00%	16.81%	0.14%	0.42%	66.11%	10.14%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%		
西 部 署	出場件数	8			28	8	5	184	1	6	501	48				789	22.6%	2.2
	搬送人員	1			26	8	5	169	1	3	389	46				648	21.5%	1.8
	人員割合%	0.15%	0.00%	0.00%	4.01%	1.23%	0.77%	26.08%	0.15%	0.46%	60.03%	7.10%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%		
長 野 原 分 署	出場件数			1	29	4	2	107		5	286	143	5			582	16.7%	1.6
	搬送人員				29	4	2	87		3	220	140				485	16.1%	1.3
	人員割合%	0.00%	0.00%	0.00%	5.98%	0.82%	0.41%	17.94%	0.00%	0.62%	45.36%	28.87%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%		
嬬 恋 分 署	出場件数			1	31	7	2	134		4	311	24	1			515	14.7%	1.4
	搬送人員				31	7	2	119		1	240	22				422	14.0%	1.2
	人員割合%	0.00%	0.00%	0.00%	7.35%	1.66%	0.47%	28.20%	0.00%	0.24%	56.87%	5.21%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%		
合 計	出場件数	16	0	2	169	40	11	660	2	26	2,128	424	14	0	3	3,495		9.6
	搬送人員	2	0	0	174	40	10	585	2	13	1,777	415	0	0	0	3,018		8.3
	人員割合%	0.07%	0.00%	0.00%	5.77%	1.33%	0.33%	19.38%	0.07%	0.43%	58.88%	13.75%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%		

町村別出場件数及び搬送人員

町村名	件数 人員	火災	自然 災害	水事 難事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自行 損為	急病	その他	合計	町村別 割合
中之条町	件数	3			30	4		138	1	7	513	82	778	22.26%
	人員	1			35	4		121	1	4	451	76	693	22.96%
長野原町	件数	1		1	27	4	1	67		5	185	179	470	13.45%
	人員	1			28	4	1	57		3	158	172	424	14.05%
嬭恋村	件数	8		1	34	7	1	142		6	337	19	555	15.88%
	人員				35	7	1	127		2	268	16	456	15.11%
草津町	件数	2			25	8	9	184	1	2	517	10	758	21.69%
	人員				21	8	8	163	1	1	385	10	597	19.78%
高山村	件数				7	4		27		1	118	3	160	4.58%
	人員				7	4		26			97	2	136	4.51%
東吾妻町	件数	2			46	13		102		5	457	146	771	22.06%
	人員				48	13		91		3	416	136	707	23.43%
管外	件数										1	2	3	0.09%
	人員										2	3	5	0.17%
合計	件数	16	0	2	169	40	11	660	2	26	2,128	441	3,495	100%
	人員	2	0	0	174	40	10	585	2	13	1,777	415	3,018	100%

過去5年間の救急件数の推移

	令和4年	令和3年	令和2年	令和元年	平成30年
火災	16	24	16	30	16
自然災害				1	9
水難事故	2	4	6	4	
交通事故	169	185	187	189	239
労働災害	40	43	42	42	49
運動競技	11	5	5	15	16
一般負傷	660	530	492	631	590
加害	2	4	5	5	5
自損行為	26	24	26	25	15
急病	2,128	1,685	1,665	1,974	2,053
その他	441	435	442	461	458
合計	3,495	2,967	2,886	3,377	3,450

月別出場件数

種別 月別	火 災	自 災	然 害	水 事	難 故	交 通	事 故	労 働	災 害	運 動	技 一	負 般	傷 加	害 自	損 行	為 急	病	そ の 他				合 計	割 合 %
																		転院搬送	医師搬送	資機材搬送	その他		
1	2					3		3				50			3	206	37				304	8.70%	
2						6		2				36			4	143	35	2			228	6.52%	
3	2					11		3				42			1	154	50	1			264	7.55%	
4	4					14		2				63			1	134	37				255	7.30%	
5	3					18		2		1		57			2	188	23	4		1	299	8.56%	
6					1	10		5				48			1	159	42				266	7.61%	
7						17		9		1		53			4	178	43	2			307	8.78%	
8	1					23		2		4		63	1		2	205	37	2		1	341	9.76%	
9						21		6		1		44			1	170	28				271	7.75%	
10	1				1	23		4		4		65			3	180	36	2			319	9.13%	
11	2					10						65			4	192	30	1		1	305	8.73%	
12	1					13		2				74	1			219	26				336	9.61%	
合計	16		0		2	169		40		11		660		2	26	2,128	424	14		0	3	3,495	100%

曜日別出場件数

種別 曜日	火 災	自 災	然 害	水 事	難 故	交 通	事 故	労 働	災 害	運 動	技 一	負 般	傷 加	害 自	損 行	為 急	病	そ の 他				合 計	割 合 %
																		転院搬送	医師搬送	資機材搬送	その他		
月	1					23		8		1		120			3	342	62	3			563	16.11%	
火	3					23		9				72			7	300	77	2		2	495	14.16%	
水	4					19		3				77			2	290	63			1	459	13.13%	
木	1					19		5		2		73			5	290	72	3			470	13.45%	
金	1					24		9		2		100			3	297	70	2			508	14.54%	
土	6				2	25		4				104	2		2	297	52	4			498	14.25%	
日						36		2		6		114			4	312	28				502	14.36%	
合計	16		0		2	169		40		11		660		2	26	2,128	424	14		0	3	3,495	100%

時間別出場件数

種別 時間	火 災	自 災	然 害	水 事	難 故	交 通	事 故	労 働	災 害	運 動	技 術	一 般	負 傷	加 害	自 損	行 為	急 病	そ の 他				合 計	割 合 %
																		転院搬送	医師搬送	資機材搬送	その他		
0 ~ 2	1					5						18					86	5				115	3.29%
2 ~ 4	2											10					84	5				101	2.89%
4 ~ 6	1					2						16					116	4				139	3.98%
6 ~ 8	2					6		3				47			3		166	8				235	6.72%
8 ~ 10	1					18		7				96			4		224	52		1		403	11.53%
10 ~ 12				1		29		7		3		93	1		1		247	92	5			479	13.71%
12 ~ 14	1					24		10		4		69			6		216	84	2			416	11.90%
14 ~ 16	1					39		7		4		93	1		2		203	61	6			417	11.93%
16 ~ 18	2			1		25		3				79			1		199	58	1			369	10.56%
18 ~ 20	2					12		2				65			2		252	28		1		364	10.41%
20 ~ 22	2					7		1				47			3		202	15				277	7.93%
22 ~ 24	1					2						27			4		133	12		1		180	5.15%
合 計	16		0		2	169		40		11		660		2		26	2,128	424	14	0	3	3,495	100%

事故種別・年齢区分・傷病程度別搬送人員

年齢区分	事故種別	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
	傷病程度												
新生児	死亡												0
	重症												0
	中等症												0
	軽症											1	1
	その他												0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
乳幼児	死亡												0
	重症												0
	中等症							4			14	1	19
	軽症				2			24			36		62
	その他												0
	計	0	0	0	2	0	0	28	0	0	50	1	81
少年	死亡												0
	重症											2	2
	中等症				1			2	7		15	1	26
	軽症				5			6	18		21	2	52
	その他												0
	計	0	0	0	6	0	8	25	0	0	36	5	80
成人	死亡									2	6		8
	重症				7	5		8		3	21	24	68
	中等症	1			27	9	1	57		2	165	68	330
	軽症				74	12	1	90	1	4	226	6	414
	その他											1	1
	計	1	0	0	108	26	2	155	1	11	418	99	821
高齢者	死亡							2		1	34		37
	重症				7	2		20		1	174	97	301
	中等症				23	11		191			688	199	1,112
	軽症	1			28	1		164	1		374	14	583
	その他											2	2
	計	1	0	0	58	14	0	377	1	2	1,270	312	2,035
合計	死亡							2		3	40		45
	重症				14	7		28		4	195	123	371
	中等症	1			51	20	3	259		2	882	269	1,487
	軽症	1			109	13	7	296	2	4	657	23	1,112
	その他										3		3
	計	2	0	0	174	40	10	585	2	13	1,777	415	3,018

※年齢区分について

新生児・・・0才

乳幼児・・・0才以上満7才未満

少年・・・満7才以上満18才未満

成人・・・満18才以上満65才未満

高齢者・・・満65才以上

傷病者の事故種別居住地別調

事故種別	県内居住者							郡外居住者	県外居住者	住所不明	合計
	郡内居住者										
	中之条町	長野原町	嬬恋村	草津町	高山村	東吾妻町	小計				
火災	1			1			2				2
自然災害											0
水難事故											0
交通事故	19	11	13	7	7	23	80	35	59		174
労働災害	5	4	6	7	1	6	29	11			40
運動競技				2		1	3	2	5		10
一般負傷	107	31	59	58	20	73	348	44	193		585
加害	1			1			2				2
自損行為	2	2	1	1		3	9	1	3		13
急病	428	123	218	227	71	378	1,445	80	251	1	1,777
その他	85	38	71	61	3	77	335	34	46		415
合計	648	209	368	365	102	561	2,253	207	557	1	3,018

普通救命講習管轄別受講者数

管轄別 区分	東部消防署	中之条分署	西部消防署	長野原分署	嬭恋分署	計
新規受講者	26	39	129	18	63	275
再受講者	14	17	9	13	10	63
計	40	56	138	31	73	338

救急医療情報サービス問い合わせ件数

科別 月別	内科	小児科	外科	脳外科	産婦人科	整形外科	泌尿器科	耳鼻科	眼科	精神科	皮膚科	歯科	その他	計
1	11	10	4	1					1				2	29
2	6	7	1			2								16
3	11	5	1			3	1	1				2	1	25
4	4	17	3	1		4		1	1		2		1	34
5	5	9	7	1	1	1	1	1	4					30
6	6	8	7	1		4		1	3		1		1	32
7	11	8	7	1		4	1	1	1				2	36
8	13	18	7			5		4	3		4			54
9	10	9	2		1	4		1	1		1		1	30
10	5	13	5			7		1	2		2		3	38
11	5	8	3			4		1						21
12	7	11	3			6		3				2	1	33
計	94	123	50	5	2	44	3	15	16	0	10	4	12	378

通 信

指令管制施設（たかさき消防共同指令センター）

指令管制業務は、災害通報の119受信に始まり、出動指令、通信統制、災害情報の収集伝達、災害活動の終了に至るまでの一連の業務であり、人命の救護、災害に係る被害の軽減等、消防部隊を効率的に運用するための業務です。

「たかさき消防共同指令センター」は、これらの業務を共同運用することで、業務の効率化及び災害情報の一元化を図り、消防救急デジタル無線及び消防指令システムを有効に活用して、様々な災害事案に迅速対処し、被害の軽減を図ることを目的としています。

○消防指令業務の共同運用に係る経過

平成17年7月

- ・「消防救急無線の広域化・共同化及び消防指令業務の共同運用の推進について」消防庁次長通知

平成17年9月

- ・群馬県が「群馬県消防力強化推進協議会」に「消防救急無線整備・運用部会」を設置

平成19年3月

- ・「消防救急無線のデジタル化に係る無線方式等について」消防庁消防・救急課長、防災情報室長通知
- ・群馬県消防力強化推進協議会が「消防救急無線の広域化・共同化及び消防指令業務の共同運用の推進について」を取りまとめ
- ・群馬県が「消防救急無線の広域化・共同化及び消防指令業務の共同運用の推進について（群馬県整備計画）」を消防庁へ提出

平成21年4月

- ・群馬県内10消防本部が「消防救急無線共同整備等推進委員会」を設置

平成22年4月

- ・「消防救急デジタル無線に係る『県内の広域化・共同化に係る全体計画』及び『各消防本部の年次整備計画』の作成等に関する留意事項について」消防庁防災情報室事務連絡

平成23年11月

- ・高崎市等広域消防局、利根沼田広域市町村圏振興整備組合消防本部、渋川広域消防本部、多野藤岡広域市町村圏振興整備組合消防本部、富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合消防本部及び吾妻広域市町村圏振興整備組合消防本部の6消防本部が「消防救急無線共同整備等推進委員会」を継続

平成24年12月

- ・群馬県が「消防救急デジタル無線に係る群馬県内の広域化・共同化に係る全体計画」を策定し消防庁へ提出

平成25年7月

- ・「消防救急無線共同整備等推進委員会」が消防救急無線デジタル化整備に係る整備工事を実施
- ・「消防救急無線共同整備等推進委員会」が指令センター整備に係る実施設計を実施

平成26年7月

- ・「消防救急無線共同整備等推進委員会」が指令センター整備に係る整備工事を実施

平成 27 年 4 月

- ・「高崎市・安中市消防組合ほか5 一部事務組合消防指令事務協議会」の設置

平成 27 年 6 月

- ・「高崎市等広域消防局」が新指令システムに切替え

平成 27 年 9 月

- ・ 6 消防本部から指令センター職員が派遣され指令係が稼働開始

平成 27 年 10 月

- ・「渋川広域消防本部」、「利根沼田広域市町村圏振興整備組合消防本部」が 119 番回線を指令センターに切替え

平成 27 年 11 月

- ・「富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合消防本部」、「多野藤岡広域市町村圏振興整備組合消防本部」が 119 番回線を指令センターに切替え

平成 27 年 12 月

- ・「吾妻広域町村圏振興整備組合消防本部」が 119 番回線を指令センターに切替え

平成 28 年 3 月

- ・「たかさき消防共同指令センター」開所記念式典
- ・「消防救急無線共同整備等推進委員会」を解散

平成 28 年 4 月

- ・「たかさき消防共同指令センター」運用開始

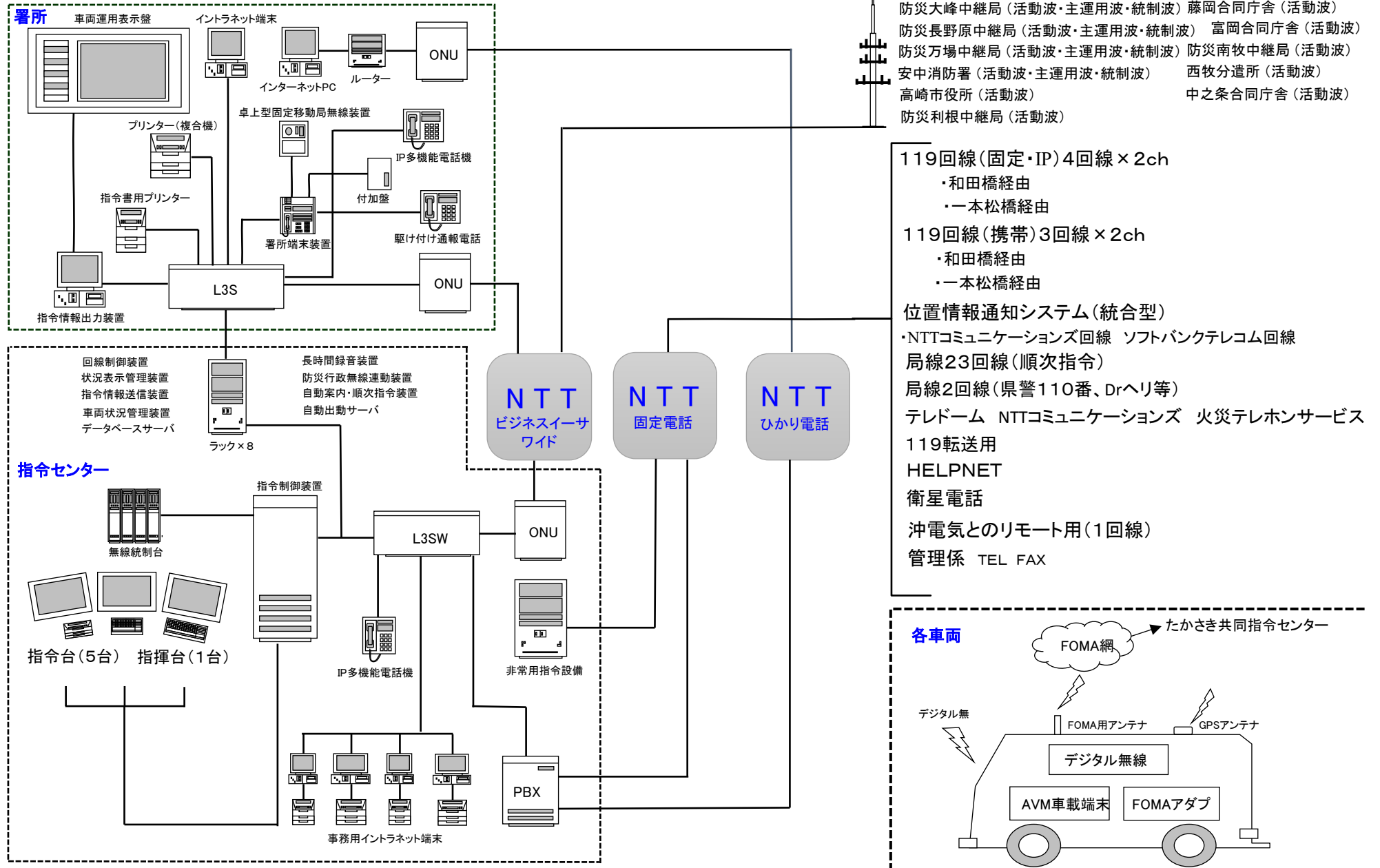
※協議会・・・地方自治法の規定に基づき、普通地方公共団体は、事務の一部を共同して管理・執行するため、協議により規約を定めて協議会を設けることができる。規約の協議について関係地方公共団体の議会の議決を要する。（連絡調整協議会を除く。）
協議会が行う事務の管理・執行は、関係普通地方公共団体の執行機関が管理・執行したものであるものとしての効力を有する。

○ 1 1 9 番災害通報等受信状況

区 分	令和 4 年
たかさき消防共同指令センター 受信件数	57,601 件
うち 吾妻広域消防本部 受信件数	4,845 件
割 合	8.4 %

※各種問い合わせ、通報訓練、回線試験等含む。

たかさき消防共同指令センター システム構成図



デジタル消防無線配置一覧表

(1) 基地局

呼出名称	周波数
しょうぼうあがつまあかぎ	共通波 (主運用波・統制波)
しょうぼうあがつまおおみね	共通波 (主運用波・統制波)
しょうぼうあがつまなかのじょうごうちょう	活動波
しょうぼうあがつまながのほら	活動波、共通波 (主運用波・統制波)
しょうぼうあがつまもしろうがながさわとんねる	活動波、共通波 (主運用波)

(2) 陸上移動局

所属	呼出名称	用途	所属	呼出名称	用途
本部	あがつまれんらく1	車載型	西部消防署	あがつませいぶしょ703	卓上型
	あがつまはんそう1			あがつませいぶしき1	車載型
	あがつまよぼう1			あがつませいぶしざい1	
	あがつまよぼう2			あがつませいぶはしご1	
	あがつまきゆうきゆう1			あがつませいぶきゆうじよ1	
	あがつま101	携帯型		あがつませいぶぼんぷ1	
	あがつま102			あがつませいぶきゆうきゆう1	
	あがつま103			あがつませいぶきゆうきゆう2	
	あがつま104			あがつませいぶ101	携帯型
	あがつま105			あがつませいぶ102	
東部消防署	あがつまとうぶしょ701	卓上型	長野原分署	あがつませいぶ103	
	あがつまとうぶしき1	車載型		あがつませいぶ104	
	あがつまとうぶぼんぷ1			あがつませいぶ105	
	あがつまとうぶぼんぷ2			あがつませいぶ106	
	あがつまとうぶきゆうじよ1			あがつませいぶ107	
	あがつまとうぶしざい1			あがつませいぶ108	
	あがつまとうぶきゆうきゆう1			あがつませいぶ109	
	あがつまとうぶきゆうきゆう2			あがつませいぶ110	
	あがつまとうぶ101	携帯型		あがつまながのほらぶんしょ704	卓上型
	あがつまとうぶ102			あがつまながのほらしれい1	車載型
	あがつまとうぶ103			あがつまながのほらぼんぷ1	
	あがつまとうぶ104			あがつまながのほらきゆうきゆう1	
	あがつまとうぶ105			あがつまながのほら101	携帯型
	あがつまとうぶ106			あがつまながのほら102	
あがつまとうぶ107		あがつまながのほら103			
あがつまとうぶ108		あがつまながのほら104			
あがつまとうぶ109		あがつまながのほら105			
あがつまとうぶ110					
中之条分署	あがつまなかのじょうぶんしょ702	卓上型	嬭恋分署	あがつまつまごいぶんしょ705	卓上型
	あがつまなかのじょうしれい1	車載型		あがつまつまごいしれい1	車載型
	あがつまなかのじょうぼんぷ1			あがつまつまごいぼんぷ1	
	あがつまなかのじょうきゆうきゆう1			あがつまつまごいきゆうきゆう1	
	あがつまなかのじょう101	携帯型		あがつまつまごい101	携帯型
	あがつまなかのじょう102			あがつまつまごい102	
	あがつまなかのじょう103			あがつまつまごい103	
	あがつまなかのじょう104			あがつまつまごい104	
あがつまなかのじょう105		あがつまつまごい105			

消防団・消防関係団体

消防団調（令和5年度）

令和5年4月1日

町村名	団長名	分団数	定員	実員	平均年齢	普通ポンプ自動車数(台)	小型動力ポンプ積載車(台)	その他の両車
中之条町	川合 宣之	5	338	285	36.4	8	15	6
長野原町	豊田 幹雄	8	185	129	33.7	8	2	2
嬭恋村	熊川 美朗	10	300	240	32.5	6	7	3
草津町	黒岩 哲夫	6	150	122	40.2	5	2	2
高山村	都筑 尚幸	4	117	113	35.0	3	5	2
東吾妻町	※ 渡邊 義孝	6	333	291	36.9	10	6	2
合計		39	1,423	1,180	35.8	40	37	17

(※は群馬県消防協会吾妻支部長)
 (中之条町普通ポンプ自動車8台のうち2台は水槽付消防ポンプ自動車)
 (高山村普通ポンプ自動車3台のうち1台は水槽付消防ポンプ自動車)

幼年消防クラブ等結成状況

1. 幼年消防クラブ

令和5年4月1日

名 称	結成年月日	クラブ員数
あづまこども園幼年消防クラブ	昭和62年 3月20日	23 人
おおたこども園幼年消防クラブ	平成31年 4月 1日	40 人
はらまちこども園幼年消防クラブ	平成31年 4月 1日	61 人
いわしまこども園幼年消防クラブ	平成31年 4月 1日	21 人
さかうえこども園幼年消防クラブ	平成31年 4月 1日	14 人
たかやまこども園幼年消防クラブ	平成 3年 6月 1日	65 人
中之条幼稚園幼年消防クラブ	平成 6年 6月 1日	30 人
沢田幼稚園幼年消防クラブ	平成 6年 6月 1日	4 人
六合こども園幼年消防クラブ	平成22年10月24日	0 人
計		258 人

2. 婦人防火クラブ

令和5年4月1日

名 称	結成年月日	クラブ員数
孺恋村婦人消防隊	昭和39年12月12日	190 人
計		190 人

消 防 年 報

令 和 4 年 度 版
令 和 5 年 8 月 発 行

発 行 吾妻広域消防本部
〒377-0805
群馬県吾妻郡東吾妻町大字植栗 1174-1
TEL 0279-68-0119 (代)
FAX 0279-68-5080